

Ⅱ 学校教育

1. 市立学校の概要

1-1 市立小中学校一覧

	学 校 名	所 在 地	電 話	校 長	通常の学級		特別支援学級		教員数
					学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	
小 学 校	第一小学校	吉祥寺本町 4-17-16	22-1421	谷川 拓也	19	584			27
	第二小学校	境 4-2-15	51-4478	松原 修	15	480			22
	第三小学校	吉祥寺南町 2-35-9	43-2322	新井 保志	15	464	3	18	25
	第四小学校	吉祥寺北町 2-4-5	22-1423	濱辺理佐子	12	373			24
	第五小学校	関前 3-2-20	51-2196	鈴木 恒雄	16	491			23
	大野田小学校	吉祥寺北町 4-11-37	51-0511	赤羽 幸子	25	799	4	20	41
	境南小学校	境南町 2-27-27	32-3401	杉谷 努	19	615	5	27	33
	本宿小学校	吉祥寺東町 4-1-9	22-4723	越前 信	13	390			20
	千川小学校	八幡町 3-5-25	51-3695	齋藤 晃	11	321			25
	井之頭小学校	吉祥寺本町 3-27-19	51-7188	小澤 香子	20	617			34
校	関前南小学校	関前 3-37-26	53-7655	鈴木健太郎	14	426			21
	桜野小学校	桜堤 1-8-19	53-5125	藤橋 義之	27	901	4	通級	52
	小 計				206	6,461	16	65	347
中 学 校	第一中学校	中町 3-9-5	51-8041	中嶋建一郎	10	344	1	通級	24
	第二中学校	桜堤 1-7-31	52-2148	菅野由紀子	12	390			29
	第三中学校	吉祥寺東町 1-23-8	22-1426	竹山 正弘	9	291			19
	第四中学校	吉祥寺北町 5-11-41	51-7675	若槻 善隆	12	462	5	30	31
	第五中学校	関前 2-10-20	52-0421	刀根 武史	7	233			17
	第六中学校	境 3-20-10	53-6311	鈴木 斉	7	241	1	0	19
小 計				57	1,961	7	30	139	
合 計					263	8,422	23	95	486

※数値は学校基本調査（令和5年5月1日現在）による。

※通級の児童・生徒数については、通常の学級の児童・生徒数に含む。

1 - 2 児童・生徒数、学級数

① 児童・生徒数

各年度5月1日現在（単位:人）

学校名		年度	元	2	3	4	5
小 学 校	第一小学校		439	489	506	540	584
	第二小学校		423	412	441	460	480
	第三小学校		422(11)	431(10)	463(13)	451(15)	464(18)
	第四小学校		400	359	365	369	373
	第五小学校		457	476	505	493	491
	大野田小学校		745(27)	774(27)	799(29)	802(23)	799(20)
	境南小学校		536(22)	546(21)	575(20)	594(22)	615(27)
	本宿小学校		378	395	396	404	390
	千川小学校		282	291	301	327	321
	井之頭小学校		504	555	571	614	617
	関前南小学校		329	337	358	391	426
	桜野小学校		941	967	954	931	901
小 計			5,856(60)	6,032(58)	6,234(62)	6,376(60)	6,461(65)
中 学 校	第一中学校		284	313	340	341	344
	第二中学校		411	423	412	401	390
	第三中学校		298	303	315	309	291
	第四中学校		415(25)	446(29)	459(27)	468(29)	462(30)
	第五中学校		201	182	193	225	233
	第六中学校		207(1)	222(0)	226(0)	245(1)	241(0)
小 計			1,816(26)	1,889(29)	1,945(27)	1,989(30)	1,961(30)
合 計			7,672(86)	7,921(87)	8,179(89)	8,365(90)	8,422(95)

- ・（ ）内の数は特別支援学級の児童・生徒数で外数
- ・令和2年度に千川小学校に特別支援教室拠点校を開設
- ・令和2年度に第二中学校の情緒障害等通級指導学級は特別支援教室に移行

②学級数

各年度5月1日現在

学校名		年度					
		元	2	3	4	5	
小 学 校	第一小学校	14	14	16	17	19	
	第二小学校	14	13	13	14	15	
	第三小学校	13(2)	13(2)	14(2)	14(2)	15(3)	
	第四小学校	15	12	12	12	12	
	第五小学校	14	15	16	17	16	
	大野田小学校	24(5)	24(5)	24(5)	25(4)	25(4)	
	境南小学校	18(4)	18(4)	19(4)	20(4)	19(5)	
	本宿小学校	13	13	13	13	13	
	千川小学校	12	11	11	11	11	
	井之頭小学校	16	18	18	21	20	
	関前南小学校	12	12	13	13	14	
	桜野小学校	27(4)	27(4)	28(4)	27(4)	27(4)	
	小 計		192(15)	190(15)	197(15)	204(14)	206(16)
	中 学 校	第一中学校	9(1)	9(1)	9(1)	9(1)	10(1)
第二中学校		12(3)	12	12	12	12	
第三中学校		9	9	9	9	9	
第四中学校		12(4)	12(5)	12(5)	12(5)	12(5)	
第五中学校		7	6	6	6	7	
第六中学校		6(1)	7(1)	7(1)	8(1)	7(1)	
小 計		55(9)	55(7)	55(7)	56(7)	57(7)	
合 計		247(24)	245(22)	252(22)	260(21)	263(23)	

・()内の数は特別支援学級の学級数で外数

③ 令和5年度 児童・生徒数及び学級数

【通常の学級・特別支援学級（固定学級）】

令和5年5月1日現在

学年 学校名	1			2			3			4			5			6			小計			特別支援学級 (固定学級)			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第一小学校	59	52	111	49	52	101	53	40	93	55	48	103	50	37	87	55	34	89	321	263	584				321	263	584
学級数	4			3			3			3			3			3			19						19		
第二小学校	45	39	84	45	47	92	36	49	85	24	38	62	38	39	77	42	38	80	230	250	480				230	250	480
学級数	3			3			3			2			2			2			15						15		
第三小学校	30	48	78	32	30	62	49	50	99	43	32	75	38	35	73	47	30	77	239	225	464	10	8	18	249	233	482
学級数	3			2			3			3			2			2			15			3			18		
第四小学校	32	25	57	36	26	62	35	31	66	21	30	51	46	23	69	34	34	68	204	169	373				204	169	373
学級数	2			2			2			2			2			2			12						12		
第五小学校	58	34	92	30	40	70	42	58	100	43	34	77	46	38	84	28	40	68	247	244	491				247	244	491
学級数	3			2			3			3			3			2			16						16		
大野田小学校	57	61	118	77	70	147	73	62	135	84	60	144	64	55	119	63	73	136	418	381	799	14	6	20	432	387	819
学級数	4			5			4			5			3			4			25			4			29		
境南小学校	54	61	115	57	60	117	55	44	99	39	58	97	56	51	107	44	36	80	305	310	615	20	7	27	325	317	642
学級数	4			4			3			3			3			2			19			5			24		
本宿小学校	34	19	53	29	42	71	28	32	60	38	40	78	31	27	58	32	38	70	192	198	390				192	198	390
学級数	2			2			2			3			2			2			13						13		
千川小学校	28	19	47	30	32	62	37	25	62	28	25	53	32	26	58	16	23	39	171	150	321				171	150	321
学級数	2			2			2			2			2			1			11						11		
井之頭小学校	50	42	92	64	54	118	49	53	102	58	61	119	39	46	85	47	54	101	307	310	617				307	310	617
学級数	3			4			3			4			3			3			20						20		
関前南小学校	48	39	87	41	42	83	42	24	66	23	32	55	39	29	68	36	31	67	229	197	426				229	197	426
学級数	3			3			2			2			2			2			14						14		
桜野小学校	75	64	139	81	63	144	79	69	148	78	80	158	79	79	158	80	74	154	472	429	901				472	429	901
学級数	4			5			5			5			4			4			27						27		
小学校計	570	503	1073	571	558	1129	578	537	1115	534	538	1072	558	485	1043	524	505	1029	3335	3126	6461	44	21	65	3379	3147	6526
学級数	37			37			35			37			31			29			206			12			218		
第一中学校	65	58	123	58	45	103	71	47	118										194	150	344				194	150	344
学級数	4			3			3												10						10		
第二中学校	70	63	133	61	65	126	66	65	131										197	193	390				197	193	390
学級数	4			4			4												12						12		
第三中学校	57	32	89	49	51	100	52	50	102										158	133	291				158	133	291
学級数	3			3			3												9						9		
第四中学校	80	69	149	89	72	161	86	66	152										255	207	462	21	9	30	276	216	492
学級数	4			4			4												12			5			17		
第五中学校	49	37	86	40	37	77	35	35	70										124	109	233				124	109	233
学級数	3			2			2												7						7		
第六中学校	38	40	78	44	42	86	41	36	77										123	118	241	0	0	0	123	118	241
学級数	2			3			2												7			1			8		
中学校計	359	299	658	341	312	653	351	299	650										1051	910	1961	21	9	30	1072	919	1991
学級数	20			19			18												57			6			63		
総計																			4386	4036	8422	65	30	95	4451	4066	8517
学級数																			263			18			281		

【特別支援学級（通級指導学級）・特別支援教室】

種別	難聴 通級指導学級			言語障害 通級指導学級			特別支援教室			難聴 通級指導学級			特別支援教室		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
設置校	桜野小学校			桜野小学校			全小学校			第一中学校			全中学校		
児童・生徒数	5	3	8	30	23	53	243	52	295	6	5	11	47	9	56
学級数	1			3						1					

*通級指導学級・特別支援教室の児童・生徒は、通常の学級に学籍がある。

1 - 3 教員配置定数の推移

各年度5月1日現在 (単位:人)

学 校 名		年 度									
		26	27	28	29	30	元	2	3	4	5
小 学 校	第一小学校	18	18	18	19	20	20	20	22	24	26
	第二小学校	20	19	20	19	19	20	19	19	20	21
	第三小学校	20	19	19	21	23	22	22	23	23	25
	第四小学校	24	25	24	24	28	30	24	25	24	23
	第五小学校	20	20	19	20	19	20	21	24	24	22
	大野田小学校	34	33	35	36	38	39	39	40	40	39
	境南小学校	30	29	29	29	30	30	30	31	32	32
	本宿小学校	16	18	18	18	19	19	19	19	19	19
	千川小学校	18	18	18	18	18	18	23	24	24	24
	井之頭小学校	19	19	23	25	26	29	31	31	34	33
	関前南小学校	16	17	17	17	17	18	18	19	19	20
	桜野小学校	40	41	44	43	49	49	48	50	49	48
小 計		275	276	284	289	306	314	314	327	332	332
中 学 校	第一中学校	21	22	20	20	20	21	22	21	21	22
	第二中学校	24	24	24	25	25	26	27	28	28	28
	第三中学校	21	21	21	19	19	19	19	19	19	19
	第四中学校	26	25	25	28	28	29	31	30	30	30
	第五中学校	18	19	19	17	17	17	16	15	15	17
	第六中学校	20	17	18	17	16	16	18	18	19	18
小 計		130	128	127	126	125	128	133	131	132	134
合 計		405	404	411	415	431	442	447	458	464	466

- ・産休・育業休代替教員、充て指導主事、休職者、教員研究生、日本人学校派遣教員、非常勤教員等は除く。
- ・指導方法の工夫改善に伴う加配措置を含む。
- ・この他「学習指導講師（市講師）」の数は以下のとおり。

令和5年5月1日現在 (単位:人)

第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小
4	5	6	7	4	11	5	5	2
井之頭小	関前南小	桜野小	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
7	5	9	2	3	2	1	2	0

1 - 4 学区域

昭和22年11月の市制施行時における公立小中学校の数は、小学校が5校、中学校は1校であったがその後の学齢人口の増加に伴う学校新設ごとに学区域の調整を行い、平成8年4月に学校の新設としては最後である桜野小学校の開校による学区域変更を行いました。その後、大野田小地域及び桜野小地域の学齢人口が増加したことに伴い、令和2年4月に区域間の調整による学区域の変更を行い、現在の学区域に至ります。

なお、学区域の指定は、学校教育法施行令第5条第2項の規定に基づき、武蔵野市立学校学区に関する規則を制定して行っています。

武蔵野市立学校学区域表

令和2年4月1日から適用

学校名	町名・丁目	番・(号)	
第一小学校	吉祥寺本町	1 1～11	
		2 1～20 24～34	
		4 全域	
	中町	3 全域	
第二小学校	関前	5 全域	
	境	1 全域	
		2 1～22	
		3 全域	
	4 16を除く全域		
第三小学校	吉祥寺南町	1～5 全域	
第四小学校	吉祥寺東町	1 1～6	
		2 1～21	
	吉祥寺北町	1 全域	
		2 全域	
		3	1～4
			10 (1～12・47～79) 11～14 15 (1～3・20～34)
第五小学校	西久保	1～3 全域	
	関前	3 2～5	
大野田小学校	吉祥寺北町	3 5～9 10 (13～46) 15 (4～19) 16・17	
		4 全域	
		5 全域	
	緑町	1 1～3	
		2 1～3	
		3 全域	
境南小学校	境南町	1～5 全域	
本宿小学校	吉祥寺東町	1 7～25	
		2 22～45	
		3 全域	
	吉祥寺本町	4 全域	
千川小学校	緑町	1 12～38	
		1 4～8	
	八幡町	2 4～6	
井之頭小学校	御殿山	1～2 全域	
	吉祥寺本町	2 21～23 35	
		3 全域	
中町	1～2 全域		
関前南小学校	関前	1 全域	
		2 全域	
		3 1 6～41	
		4 全域	
桜野小学校	境	1 全域	
		2 23～27	
		4 16	
	5 全域		
桜堤	1～3 全域		

学校名	町名・丁目	番・(号)
第一中学校	御殿山	1～2 全域
	吉祥寺本町	1 1～11
		2 全域
		3 全域
		4 全域
中町	1～3 全域	
第二中学校	境	2 23～27
		4 16
	境南町	5 全域
		3～5 全域
第三中学校	桜堤	1～3 全域
	吉祥寺東町	1～4 全域
	吉祥寺南町	1～5 全域
第四中学校	吉祥寺本町	1 12～38
		2 1～6
	吉祥寺北町	1 1～14
第五中学校	吉祥寺北町	2 1～6
		1 15～31
		2 7～21
		3 全域
	緑町	4 全域
第六中学校	八幡町	1～3 全域
	1～4 全域	
第五中学校	西久保	1～3 全域
	関前	1～4 全域
第六中学校	関前	5 全域
	境	1 全域
		2 1～22
		3 全域
	境南町	4 16を除く全域
	1～2 全域	

1 - 5 学校施設概要一覧

令和5年6月1日現在

学校名	敷地面積 (㎡)	校 舎		体 育 館		プ ール		備 考
		建築年月	延床面積 (㎡)	建築年月	延床面積 (㎡)	築造年度	規模 (m)	
第一小学校	10,591.04	昭和44. 3	6,104.74	昭和44.10	702	昭和35	25×10	
第二小学校	9,854.59	昭和43. 3	5,842.16	昭和43. 3	732	昭和43	25×10	
第三小学校	12,227.69 体育館棟敷地含む	昭和45. 3 昭和49. 2	7,110.92	昭和43. 3 昭和62. 7	1,503	昭和62	25×10	体育館2棟有り
第四小学校	13,045.00	昭和47. 5 昭和53.11	7,140.43	昭和44. 3	741	昭和36	25×10	
第五小学校	9,901.93	昭和36. 3 昭和48. 3	6,852.00	昭和47. 5	869	昭和37	25×10	
大野田小学校	15,051.77	平成17. 3 平成30. 2	14,022.81	昭和55. 3	1,261	平成17	25×11	
境南小学校	14,203.17	昭和47. 3 昭和51. 3	8,817.10	昭和51. 7	677	昭和51	25×10	借地分 56㎡
本宿小学校	11,518.23	昭和53. 9	7,819.92	昭和54. 3	795	昭和53	25×10	
千川小学校	10,427.37	平成 7. 3	10,108.72	平成8. 10	1,525	平成 7	25×10	自然体験園 観察小屋含む
井之頭小学校	10,222.69	昭和49.11	7,697.49	昭和62. 2	2,087	昭和61	25×11	
関前南小学校	14,778.44	昭和46. 5	4,383.35	昭和46. 5	771	昭和46	25×10	
桜野小学校	12,820.91	昭和52. 4 平成14. 3 平成22. 8 平成27. 3	10,834.96	平成14. 3	1,399	昭和42	25×10	
小学校計	144,642.83	—	96,734.60	—	13,062	—	—	
第一中学校	15,519.80	令和 4. 8 昭和63.10	9,241.07	昭和57.11	2,111	昭和57	25×11	借地分 15,520㎡
第二中学校	15,098.07	昭和43. 2	9,340.52	昭和59.11	2,829	昭和33	25×13	
第三中学校	14,586.68	昭和47. 3 昭和58. 3	8,770.90	昭和58. 3	2,216	昭和57	25×11	
第四中学校	19,996.22	昭和51. 8 平成 3. 6	15,988.80	平成 4. 6	3,322	平成 4	25×11	借地分 5,225㎡
第五中学校	20,241.71	令和 4. 8	6,687.57	昭和39. 3	1,298	昭和59	25×11	
第六中学校	12,697.02	昭和46. 3 昭和56. 3	8,017.05	昭和47. 2	1,100	昭和55	25×10	借地分 56㎡
中学校計	98,139.50	—	58,045.91	—	12,876	—	—	
合 計	242,782.33	—	154,780.51	—	25,938	—	—	

※ 校舎の延床面積は、体育館の延床面積を含む。

※ 第一中学校・第五中学校の校舎は、仮設校舎供用開始後の数値による。

第一小学校



校長 谷川 拓也 副校長 藤間 研吾

所在地 吉祥寺本町4-17-16
 TEL 0422(22)1421
 FAX 0422(23)0394
 H P <https://dail-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 明治 6年 研礎学舎と称し、安養寺に創設
 8年 吉祥寺小学校と改称
 26年 武蔵野村吉祥寺尋常小学校に改称
 44年 現在地へ校舎新築、移転。武蔵野村第一尋常小学校と改称し、開校記念日とする。
- 昭和 10年 校歌制定（野口雨情作詞、藤井清水作曲）
 16年 武蔵野第一国民学校と改称
 22年 市制施行により武蔵野市立武蔵野第一小学校と改称
 三石館（旧体育館）落成、現在の校章が決まる。
 30年 特殊学級（むらさき学級）開設（昭和47年第四小学校に移設）
 35年 開校50周年記念式典を挙行、国旗掲揚塔、石炭置場新設
 36年 武蔵野市立第一小学校と校名変更、プール完成
 44年 鉄筋コンクリート四階建現校舎落成、体育館落成
 60周年及び校舎落成記念式典を挙行
 49年 訪問学級開設（昭和60年3月閉級）
 54年 文部省より保健体育優良校として表彰
 55年 70周年（開校107周年）記念式典を挙行、校庭遊具6基新設
 58年 開校110周年記念式典を挙行
 63年 学校施設開放運営委員会発足遊び場開放実施
- 平成 5年 開校120周年記念式典を挙行
 15年 東京都人権尊重教育推進校・武蔵野市教育研究校として発表会開催
 開校130周年記念式典挙行
 16年 ビオトープ完成
 20年 武蔵野市教育研究校として発表会開催、校庭一部芝生化
 21年 校舎棟耐震補強工事
 25年 武蔵野市教育課題研究開発校（環境教育）として発表会開催
 開校140周年記念式典挙行
 26年 「のびのびルーム」新設工事
 28年 特別支援教室「かわせみ教室」新設工事、第10回むさしの教育フォーラム
 ～セカンドスクール20年を迎えて～「小・中学校合同セカンドスクール報告会」
 29年 第2子どもクラブ教室新設工事
 30年 校舎棟屋上防水改修工事、汚水枘改修工事
 31年 体育館空調設置工事、保健室シャワー設置工事、4階ミシン室普通教室化工事
- 令和 元年 平成30・31年 武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）研究発表
 3年 一子どもクラブ増設及び一小あそべえ移転
 学習者用コンピュータ導入
 4年 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 日本管楽合奏コンテスト全国
 大会出場
 5年 東京都教育委員会児童生徒表彰
 開校150周年

教育目標

(1) 学校の教育目標

- 自分も人も大切にする子 ◎自ら学ぶ子（重点目標） ○健康な子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 創立150周年記念事業を通して、保護者・地域社会と連携・協力した教育活動の展開を図る。
 ア 「自分も人も大切にする子」を育成するために

- ① 全教育活動を通して人権教育を推進し、児童一人一人の人権意識・人権感覚を高めるのとともに、様々な考えを受け止め、互いに尊重し合う態度を養い、他者と共に生きる力を育む。
 - ② 特別の教科 道徳や総合的な学習の時間を中心に、生命を大切にすることを心や相手を思いやることができる豊かな人間性を育み、人と社会のつながりを大切にすることで、地域社会の一員としてよりよい地域づくりに意欲的に参画する資質や態度を育成する。
- イ 「自ら学ぶ子」を育成するために
- ① 児童との確かな信頼関係を築き、各教科の指導・生活指導の充実を図ることで、児童に望ましい学習規律・規範意識を定着させ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
 - ② 「わかった」「できた」「楽しい」と感じる授業の実現を通して、児童に質の高い教育を提供するとともに、個に応じたきめ細かな指導により、学習習慣の確立を促し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。また、思考力・判断力・表現力を高める教育活動を推進し、問題解決能力を高める。
- ウ 「健康な子」を育成するために
- ① 意図的・計画的に体育の授業や体力向上の取り組みの充実、外遊びの推進を通して、自分の心と体に関心をもたせ、基礎的な体力・運動能力の向上と心身の健康づくりに向けて運動量の十分な確保に取り組むとともに、体を動かす楽しさを感じさせることで、生涯にわたって健康で活力ある生活を送るための資質・能力を育てる。
 - ② 体験的な活動や異学年集団における協働により、望ましい人間関係を大切にしながら、協力し合う心や粘り強く取り組む心を育むとともに、自分や周囲の健康で安全な生活を意識し、主体的に課題解決を図る力を育む。
 - ③ 家庭や地域と協力して、規則正しく健康的な生活習慣の定着を図り、学びと育ちの基盤を整える。

特色ある教育活動

- ア 「自分も人も大切にする子」を達成するため、特別の教科道徳、総合的な学習の時間等を中心に全教育活動を通して人権教育を推進する。発達段階に合わせて、人権教育プログラムを活用し多様性を認め合う授業を実施したり、児童一人一人の個性や能力が発揮できる場を設定したりして、自己肯定感を育むことで、自分やほかの人の大切さを認めようとする態度を育む。
- イ 各教科での学習者用コンピュータの活用や、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳の中で、情報を適切に活用するために必要な知識や技能を身に付けさせ、ICTを適切・安全に使う資質・能力を育成するデジタル・シティズンシップ教育の充実を図る。
- ウ 体育科の授業、体育朝会、大縄跳び・短縄跳び旬間、持久走旬間などの充実を通して、児童の体力・運動能力の向上と健康の維持増進を図る。体力調査の結果から具体的な到達目標を設定し、児童に自己の課題を見付け、解決に向けて考え、判断する力を身に付けさせる体育授業の改善に努める。また、毎週火曜日の「姿勢すっきりタイム」の取り組みにより、よい姿勢で体幹を保つ意識と習慣を育む。
- エ オリピック・パラリンピック教育の「学校2020レガシー」として、「障害者理解」「スポーツ志向」を高めるために、スポーツ推進委員と協働してボッチャ体験を継続して実施したり、バレーボールやラグビーのゲストティーチャーを取り入れた授業を実施したりすることで、スポーツへの興味・関心を高め、運動に親しみ、楽しく明るい生活を営む態度を育む。
- オ 安全指導年間計画に防災教育を位置付け、災害時の対応や日常的な備え、実践的な応急救護の実技について学ぶ。また第5学年総合的な学習の時間に防災の単元を位置付け、保護者や地域との合同防災訓練の活動を通して、自助・公助の意識や技能の向上を図る。
- カ 地域コーディネーターと連携し、地域のよさを十分に理解し地域を愛する心情や国際理解・伝統文化に関する理解を深めるとともに、「自立」「協働」「社会参画」の3つの視点から地域社会と積極的に関わり貢献しようとする市民性を高める教育を推進する。
- キ 第1学年児童の小学校生活をスムーズにスタートさせるため幼稚園・保育園との情報共有を綿密に行い、児童理解を深めるとともに、適応指導に9時間計上し「武蔵野スタートカリキュラム」を活用した小1プログラムの早期対応と解決を図る。中学校とは「小・中学校合同研修会」でテーマごとに共通理解を深め、小中学生の交流の場を計画的に設定することで、小中の接続をスムーズにし、児童が見通しと期待をもち、新たな環境において自立的に生きるための基礎を身に付けられるようにする。
- ク 日々の音楽授業に加え3年に1回の音楽会の取り組みを通し、表現する楽しさや鑑賞する喜びを味わわせながら豊かな情操を育てる。また吹奏楽団の活動を継続する中で、自他の立場を尊重し仲間と関わる意識、地道な努力を継続する姿勢を育み、音楽のみならず全人的な成長を促すとともに、対外的な演奏の機会を通して本校の音楽活動を発信し、地域や他校との交流の懸け橋となる。

第二小学校



校長 松原 修

副校長 中瀬 雅美

所在地 境4-2-15

TEL 0422 (51) 4478

FAX 0422 (55) 5027

H P <https://dai2-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 明治 6年 本校の前身「栄境学舎」観音院の一室に開校
8年 「境学校」と校名改称 杵築神社に移転
18年 「隆明小学校」(30坪)と校名改称
24年 初代校長 窪田半三郎就任
26年 「隆明尋常小学校」と校名改称
44年 武蔵野村第二尋常小学校と校名改称 4月15日を開校記念日と定める
- 昭和 6年 武蔵野町第二尋常小学校と校名改称
16年 武蔵野第二国民学校と校名改称
22年 4月1日 武蔵野町立武蔵野第二小学校と校名改称
11月1日 武蔵野市立武蔵野第二小学校と校名改称
36年 東京都武蔵野市立第二小学校と校名改称
43年 新校舎竣工、旧校舎より移転(現在位置に移る)
- 平成 5年 開校120周年記念式典挙行(「栄境学舎」開校以来)
7年 文部省道徳教育推進校・市教育研究校研究発表(平成5・6年度)
10年 武蔵野市教育研究校・研究発表(算数)
第4回セカンドスクール実施地変更(富山県利賀村 6泊7日)
14年 武蔵野市教育研究校・研究発表(生活科・総合的な学習の時間)(平成12・13年度)
15年 開校130周年記念式典挙行(「栄境学舎」開校以来)
18年 武蔵野市教育委員会教育研究校 研究発表会(平成17・18年度)
20年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校 研究発表会(平成19・20年度)
22年 太陽光パネル設置工事完了 校庭遊具「うんてい」「丸太ステップ」設置
25年 開校140周年記念式典・祝賀会挙行(「栄境学舎」開校以来)
26年 武蔵野市教育研究奨励校 研究発表会(体育・食育)(平成25・26年度)
30年 東京都道徳教育推進拠点校・武蔵野市教育研究奨励校 研究発表会(平成28・29年度)
研究主題 相手を思いやり、自ら進んで実践する子供の育成～道徳教育を通して～
- 令和 3年 全児童に学習者用コンピュータが配布される
2年ぶりにセカンドスクールを実施
4年 第二学童クラブを移動し普通教室化
6年生『iisakai 武蔵野二小 特別号』作成(武蔵野市民科)
武蔵野市教育委員会調査研究協力校「自信と意欲を高める教育」
二小桜更新(伐採)
第27回セカンドスクール実施日数変更(富山県南砺市利賀村 6泊7日)
5年 6年生「照らそう 境の町」イルミネーション点灯式(武蔵野市民科)
開校150周年記念行事の実施

子どもたちの「笑顔」と「夢」があふれる学校

教育目標

自他の人権を尊重し、自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる児童を育てる。

- ◎ やさしく 多様性を認め、尊重し合う児童
- かしこく 自ら学び、考え、行動する児童
- たくましく これからの時代を生きる能力を身に付け、最後までやり遂げる児童

特色ある教育活動

- ◎ 武蔵野市民科を、二小地域の教育資源や文化的環境等を積極的に活用した探究的で、教科等横断的な学習として高学年に位置付け、多様性を尊重し、そのよさを生かし、社会の一員としてよりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力を育成する。また、地域コーディネーターとの連携を図り、学校・地域・保護者が一体となった教育活動を推進し、「自立」「協働」「社会参画」に関する資質・能力を育てる。
 - ・ セカンドスクール等長期宿泊体験活動については、事前事後の学習活動との関連性を明確にし、各学年の指導計画に適切に位置付けるとともに、新しいことに挑戦し、仲間と協力して最後までやり遂げる機会とする。
 - ・ 年間指導計画に基づき、学校ビオトープや独歩の森などの自然環境や、武蔵野の森を育てる会や青少協などの地域の人的資源を生かした活動を通して、環境保全、自然愛護、地域の一員としての自覚、人との触れ合いを大切にする心などを育む。
- ◎ たてわり班活動や児童集会等の異学年交流の場を意図的・計画的に設定し、児童が協働し、互いに認め合い高め合う豊かな人間関係を育む。
- ◎ 課外の吹奏楽部の活動を通して、音楽的な情操を高めるとともに生涯にわたって音楽に親しむ基礎を培う。学校行事や児童朝会、地域の行事等で日常の練習成果を発表し、自信と意欲を育む。
- ◎ 和太鼓や箏をクラブ活動や音楽の授業でも積極的に取り入れ、連合音楽会や学校行事等で成果を発表することを通して、日本の伝統・文化を大切にする心や郷土を愛する心情を育てる。
 - ・ 近隣の保育園・幼稚園・こども園、高齢者や地域関係機関等との交流活動を通じた多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図り、地域社会の一員としての自覚を促す。
 - ・ 25分間の中休みと昼休みを活用し、運動に親しむ習慣を身に付け、体力向上に努めるとともに、遊びを通して相手を思いやる優しさを育む。
 - ・ 体力調査の結果から強化すべき運動を選択し、その対策として、学期に1回の「二小オリンピック」を設定し体力の向上を図る。
 - ・ 月に2回、朝学習の時間を活用し、児童の発達段階に応じて、学習者用コンピュータの使い方に習熟する時間を設定する。
- ◎ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策委員会を中心に組織的に取り組むとともに、家庭・地域・あそべえ・学童クラブ等の関係諸機関と連携し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を図り、いじめを許さない教育を推進する。
- ◎ 特別な支援を必要とする児童の保護者との連携を深め、学校生活支援シートや個別指導計画、登校支援シートを作成し、児童一人一人の教育的ニーズを確実に把握するとともに、適切な指導と必要な支援、合理的配慮など、計画的で切れ目のない支援を行う。

第三小学校



校長 新井 保志 副校長 小泉 裕樹

所在地 吉祥寺南町 2-3-5-9

TEL 0422 (43) 2322

FAX 0422 (43) 9481

H P <https://dai3-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和5年 武蔵野町立第三尋常小学校として開校
22年 武蔵野市立第三小学校と校名変更
45年 鉄筋校舎落成・創立40周年記念式典
- 平成14年 東京都教育委員会職員表彰学校賞受賞、東日本学校吹奏楽大会（仙台）大賞受賞
16年 文部科学省・東京都教育委員会指定学力向上フロンティアスクール
国立教育政策研究所教育課程研究指定校、
21年 校舎耐震補強工事、日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞受賞
22年 創立80周年記念式典、東京都確かな学力向上実践研究推進校研究協議会実施
23年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校
24年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校研究協議会実施
25年 武蔵野市教育委員会教育奨励校として研究発表
26年 第29回時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞
27年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、
東京都教育委員会理数フロンティア校
28年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨励校として発表
29年 特別支援学級ひまわり学級開設 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
30年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨励校として発表
- 令和元年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
東日本学校吹奏楽大会（金沢）銀賞受賞
2年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校
日本管楽合奏コンテスト全国大会小学校部門 最優秀賞受賞
TBS こども音楽コンクール小学校管楽合奏部門 優秀賞受賞
開校90周年記念式典
3年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として発表
東日本学校吹奏楽大会（北海道）銀賞受賞
4年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校
東日本学校吹奏楽大会（東京）金賞受賞
5年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校

教育目標

本校の開校以来の校訓「松のようにたくましく、桜のようにうつくしく、こぶしのように清らかに」を踏まえて、本校の教育目標を設定する。人間尊重の精神に基づき、心豊かな知性と感性、道徳心や体力を育み、時代の変化に主体的に対応できる個性・能力を伸ばす教育を推進する。そのために、次のような目指す子ども像を掲げる。

- ◎思いやりのある子ども（重点目標） ○よく学び考える子ども
- 明るく元気な子ども ○進んではたらく子ども

特色ある教育活動

- ① 「人権標語」「人権メッセージ」「なかよしの木」の取組等を通して、人権教育の推進を図り、一人一人の人権意識を高める。
- ② すべての教職員が人権感覚を磨くとともに、学校生活全体における言語環境を十分に整え、教職員と児童との確かな信頼関係を確立する。
- ③ 校内研究（国語科、算数科）では、教科の特質に応じた見方・考え方を働かせ、主体的、対話的で深い学びを実現するため、問題解決学習を全校で行う。児童が自ら課題をもち考え、学び合っ
- て解決を図り、学んだ事を生活に生かそうとする資質・能力を育成する。
- ④ 学習者用コンピュータを授業場面で効果的に活用し、他者と協働して自己の考えを発信したり、互いの考えを比較し検討し考えを深めたりする学習活動を展開する。
- ⑤ ひまわり学級児童や副籍児童との交流を行事や授業、遊びを通して行い、特性を理解し、違いを認め合い、思いやりをもって接することができるようにする。
- ⑥ 音楽の授業を通して、音楽活動への意欲を高め、音楽を愛好する心情を育てるとともに、豊かな人間関係を目指す。
- ⑦ ICT機器を活用した授業を推進し、情報化社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を育み、系統的な情報モラル教育を展開する。
- ⑧ 市民性を高める教育を推進するために、地域の人材や副読本などを活用し、歴史・文化等、地域から学ぶ機会を充実させる。各教科において横断的に、「自立」「協働」「社会参画」をキーワードとした市民性を高める教育を推進する。
- ⑨ 「吹奏楽団」の活動を生かして音楽的情操の向上を図り、地域との交流の架け橋とする。
- ⑩ 給食についての栄養士や調理員からの栄養指導により食事への関心を高め、感謝の気持ちをもたせる。また、生活科、理科、社会科、家庭科の学習を通して、食事の重要性や食文化と食物の大切さを理解し、食物生産にかかわる人々への感謝の心を育む。
- ⑪ 低学年で年間5時間の国際理解教育を計画し、外国語指導助手（ALT）とコミュニケーションを図ることにより、外国の文化に親しむ態度の素地を養う。
- ⑫ 災害時に自ら適切な対応がとれるよう、現実に即した避難訓練、不審者対応訓練を行い、防災・防犯意識を高める指導をする。
- ⑬ 安全指導、セーフティ教室、地域安全マップづくり等の活動を通し、危険回避能力を身に付けさせるとともに家庭・地域との連携を図り、安全を確保する。
- ⑭ ビオランドを活用した自然観察活動、プレセカンドスクール、セカンドスクール、日光移動教室などにおける自然体験、理科や生活科での学習を通して、環境や自然と人間とのかかわりについて理解を深めるとともに、環境保全に向けて児童が主体的に行動する態度を育む。
- ⑮ オリンピック・パラリンピック教育のレガシーとして、オリンピック・パラリンピアンとの交流を通して運動への親しみやパラスポーツへの理解を深めていく。

第四小学校



校長 濱辺 理佐子 副校長 本橋 大喜

所在地 吉祥寺北町 2-4-5
TEL 0422 (22) 1423
0422 (22) 1443 (はなみずき教室)
FAX 0422 (22) 7022
0422 (22) 1443 (はなみずき教室)
HP <https://dai4-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 16年 東京府北多摩郡武蔵野第四国民学校として開校
22年 東京都武蔵野市立武蔵野第四小学校と校名の変更
30年 北校舎6教室落成 二部授業解消
36年 プール完成
44年 体育館落成
47年 新校舎完成(鉄筋4階、一部地下)
50年 武蔵野市立第四小学校と校名変更
53年 校舎増築完成(鉄筋2階)
- 平成 3年 開校50周年記念式典
10年 武蔵野市教育研究校として発表(国語)
12年 北校舎改修完了 コンピュータールーム設置
13年 開校60周年記念式典
14年 ビオトープ完成 市教育研究校として発表(総合的な学習の時間・生活科)
16年 太陽光発電装置設置 武蔵野市教育研究校として発表(算数)
18年 校庭雨水貯留槽設置 体育館床改修工事 南校舎外壁塗装
アスベスト除去工事実施
19年 通級指導学級「はなみずき学級」開級
21年 校庭整備工事終了 武蔵野市教育研究校として発表(国語)
北校舎棟(東棟・西棟)耐震補強工事
23年 開校70周年記念式典 武蔵野市教育課題研究開発校として発表(ICT活用)
25年 体育館天井改修及び照明更新工事
26~27年 東京都教育委員会言語能力向上拠点校 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校
28年 東京都教職員表彰(読書活動の推進等)
29~30年 武蔵野市教育委員会小中連携教育研究協力校
30年 「くすのき」教室開設 文部科学大臣教職員表彰
- 令和 元年 北校舎外壁改修工事完了 体育館用冷暖房機設置工事完了 第1回 芸術祭
2年 武蔵野市運動能力向上モデル校 南校舎トイレ改修工事完了
3年 開校80周年記念式典 東京都教職員表彰(子供の体力向上推進優秀校)
4年 東京都教職員表彰(子供の体力向上推進優秀校)
5年 給排水管改修工事完了

教育目標

国際社会の中で多様な他者と協調しながら新たな価値を創造し、すすんで社会に貢献する人間性豊かな児童を育成するために、教育目標を次のように設定する。

○たくましい子 ○思いやりがある子 ◎よく考える子 ○進んで働く子

特色ある教育活動

- ◎「あいさつは 心をこめて 自分から 目を見て えがおで 元気よく」をモットーに気持ちよい挨拶ができるようにし、校内の言語環境を整え、言葉遣いを意識させて、望ましい人間関係の育成を図る。
- ◎中学校へのスムーズな接続を目指すため、高学年において一部教科担任制を取り入れた授業を実施する。
- ◎「武蔵野スタートカリキュラム試案」を活用することで、入学直後の 1 年生が安心して学校生活を送ることができるようにする。また、幼稚園、保育園等との職員交流や合同研修会を計画・実施し、職員相互の理解を深めながら教育活動にあたる。
- ◎30 分間の中休みに外遊びを推奨し、遊びを通じた体力向上、コミュニケーション能力の向上をめざす。
- ◎体育指導の改善を推進し、運動の楽しさと喜びを味わわせるとともに、個人差を考慮しながら児童一人一人にできた実感を十分に体感できる授業を行うことで、何事にも挑戦する児童の育成を図る。
- ◎行事等は、実施内容、方法を十分に検討しながら、児童の自主性、自立性を育てていくことができるようにする。行事等の取組の中で、児童一人一人が自分たちの取組を振り返り、自己の成長を感じたり、次の目標をもったりすることができるように指導する。
- 年 3 回の読書旬間、朝読書を通して「四小おすすめの 100 冊」を推奨し、図書に慣れ親しみ主体的に読書活動を進められるようにする。
- 児童が自分の住む地域についてより理解を深めるために、地域コーディネーターの協力により、地域の商店や公共施設の見学や副読本の活用をする。
- 学年園を活用した植物の栽培活動を通して、生命の大切さに気付かせ生長の不思議や面白さ、収穫の喜び、継続して世話をしていく楽しさを経験させ、身近な自然を大切にすることを育てる。
- 茶道、和楽器の演奏、能楽など地域の人材を活用した伝統芸能に関わる授業を行うことで、我が国の歴史や伝統文化を理解し、尊重する態度を育てる。
- 四小の森、ビオトープ、近隣の公園など身近な自然環境をフィールドとした学習を展開するとともに、リサイクル等の環境保全のための教育を推進する。
- 吹奏楽団が児童や保護者、地域の人々に向けて演奏する機会を設け、音楽に親しむことを通して豊かな情操を育む。
- 障害者スポーツに触れたり、障害者福祉・高齢者福祉について学んだりすることを「学校 2020 レガシー」として位置付け、計画的に実施し、体験的な学習を通してボランティアマインドを育む。
- 特別支援教室と連携し、ひらがなの読みの学習を計画的に実施し、特殊音節に焦点を当て文字や語句の正しい読み書きを指導する。また児童の特性に応じて、合理的な配慮を行う。
- 「開かれた学校づくり協議会」において学校教育目標や育成を目指す資質・能力を共有することで、実現に向けて協働して取り組むようにするとともに、関係者評価を学校運営に活かしていく。地域コーディネーターを活用して地域の方々との連携を深め、地域を学び、武蔵野市を愛する児童を育てる。

第五小学校



校長 鈴木 恒雄

副校長 水崎 一誠

所在地 関前3-2-20

TEL 0422(51)2196

FAX 0422(55)5036

H P <https://dai5-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 21年 武蔵野国民学校として発足
22年 市立武蔵野第五小学校と校名変更
35年 鉄筋校舎（北校舎）落成
36年 武蔵野市立第五小学校と校名変更
48年 鉄筋新校舎（西校舎）落成
57年 学校保健統計調査の文部大臣表彰
- 平成 元年 ランチルーム完成
7年 文部省むし歯予防推進指定校研究発表
8年 開校50周年記念式典挙行
10年 市教育研究校として研究発表
13年 ISO14001登録校となる ビオトープ工事完了 武蔵野市教育研究校として研究発表
15年 体育館耐震工事完了 全国学校ビオトープ奨励賞受賞
18年 市教育課題研究開発校研究発表
19年 開校60周年記念式典挙行 武蔵野市教育研究奨励校研究発表
20年 北校舎棟耐震補強工事
21年 西校舎棟耐震補強工事 武蔵野市教育研究奨励校研究発表
22年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備完了 西校舎トイレ改修工事完了
23年 全普通教室空調設備設置工事完了
24年 校旗新調
25年 市教育研究奨励校として研究発表
27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
28年 開校70周年記念式典挙行
30年 市教育研究奨励校研究発表
31年 校内研究「コミュニケーション能力の育成」
- 令和 2年 市教育課題研究開発校（深い学びの実現）
「『深い学び』による資質・能力の向上をめざした授業の創造」
3年 市教育課題研究開発校 「『深い学び』による資質・能力の育成」 研究発表
4年 市調査研究協力校「自信と意欲を高める教育」

教育目標

人間尊重の精神を基調とし 生涯学習の視点に立って 知性と感性に富み たくましく生きる
人間性豊かな児童の育成を目指す

健康なくして 学びなし

元気 本気 根気

「気」のあふれる学校を目指す

今年度の重点的な取組

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、児童が互いの思いや考え方を「やり取り」しながら学びを深めていく学習過程を工夫する。また、「やり取り」を通して互いを尊重（リスペクト）し合い、よりよい人間関係形成に資することができるようにする。
- ② 校内研究のテーマとして、生活科・総合的な学習の時間・武蔵野市民科の全体計画・指導計画について、SDGs や地域の学習材活用、カリキュラムマネジメントの視点から見直し改善を図り、地域の教育力を教育活動に生かして、様々な人と関わる活動や体験学習を充実させる。
- ③ 読書活動や児童が本に触れる機会を重視し、学校司書と連携しながら「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての学校図書館の機能を充実させる。
- ④ 「武蔵野市子どもの権利条例」に基づき、子どもの権利尊重の視点から本校のきまりや約束、仕組みや環境などを見直しと改善を行うとともに、家庭・地域と連携しながら学習規律や基本的な生活習慣の定着を図る。
- ⑤ 都スクールカウンセラーや市派遣相談員、市スクールソーシャルワーカー他、関係機関と連携し、対象児童やその保護者とのつながりの維持を工夫しながら不登校対策に取り組む。
- ⑥ 「学級活動（1）」においては、児童が運営の役割を担った学級会等の話し合い活動を計画的に実施し、児童が主体的に集団作りに参画し、よりよい合意形成を図れるようにする。また、キャリアパスポートを活用し、「学級活動（3）」を軸にキャリア形成と自己実現を図ろうとする態度を養う。
- ⑦ 運動量を確保するとともに、技能ポイントを明らかにしたスモールステップの指導過程と楽しみながら運動に取り組める学習内容により体育科の授業を充実させ、児童の体力・運動能力の向上を図る。また、「中休みの全校外遊び」を推進するとともに、季節に応じた体力向上を図る取組を進め、すすんで健康な体づくりに取り組む児童を育成する。
- ⑧ 特別支援校内委員会を月1回実施して情報を共有し、児童の状況や保護者の要望を把握して適切な支援方法や体制を検討する。通常学級と特別支援教室（かわせみ）、個別支援教室（つばめ）が相互に連携を密にして、一人一人のニーズに応じた適切な支援が行えるようにする。
- ⑨ 児童が身近なところで音楽や美術にふれたり主体的に創作活動を行ったりできるような環境をつくとともに、図書的时间及び朝読書的时间や読書週間等を活用し、絵本・詩・物語など様々な文芸作品に触れられるようにして学校生活を豊かにし、情操を育む。
- ⑩ 自校給食のよさを生かし、児童が栄養士や調理員の話聞く機会を設けたり、給食食材に関わる活動を行ったりすることを通して、食育への意識付けを行う。
- ⑪ 「学校・家庭・地域の協働体制」を整備・確立していくために、開かれた学校づくり協議会の在り方や開催方法、学校評価アンケート及び学校関係者評価の実施方法の検討・工夫・改善を図る。
- ⑫ 第五中学校、市教委と連携して、令和7年度の校舎移転に向けた実務面・予算面での対応について準備を進める。

大野田小学校

校長 赤羽 幸子 副校長 原田 久美 植野 由希子



所在地 吉祥寺北町4-11-37
TEL 0422(51)0511
0422(51)0513 (むらさき・いぶき学級)
FAX 0422(53)8634
H P <https://oonoden-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26年 大野田小学校の認可を受ける
30年 むらさき学級開設
46年 開校20周年記念式典及び祝賀会を挙行
48年 校舎落成祝賀式挙行(旧校舎)
56年 開校30周年記念式典及び祝賀会を挙行
- 平成 3年 いぶき学級、千川小学校より移管
開校40周年記念式典及び祝賀会を挙行
13年 開校50周年記念式典及び祝賀会を挙行
14年 仮校舎での教育活動開始
15年 武蔵野市教育研究奨励校・誌上発表 新校舎建設工事開始
17年 新校舎落成記念式典挙行 パブリックアート除幕式
武蔵野市教育研究奨励校・研究発表
18年 武蔵野市教育研究推進校 文部科学省豊かな体験活動研究協力校
経済産業省資源エネルギー庁エネルギー教育推進校
公立学校優良施設表彰 奨励賞受賞
19年 武蔵野市教育研究校研究発表会開催
21年 東京都職員表彰受賞(環境教育)
武蔵野市教育研究推進校
22年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
23年 開校60周年記念式典及び祝賀会を挙行 武蔵野市教育研究推進校
24年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
27年 武蔵野市教育課題研究開発校指定
28年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表
29年 武蔵野市教育委員会モデル校(タブレットPC活用)
- 令和 元年 武蔵野市教育課題研究開発校(外国語教育)研究発表
2年 武蔵野市運動能力向上モデル校指定
3年 開校70周年記念式典及び祝賀会を挙行
5年 武蔵野市教育課題研究開発校指定

教育目標

人権尊重の精神を基調とし、豊かな心と生涯学び続ける態度を培い、確かな学力と正しい判断力、主体的な行動力と高い社会性を身に付け、地域社会や国際社会に貢献できる児童の育成を図る。

◎深く考える子(重点目標) ・明るく思いやりのある子 ・強くたくましい子

特色ある教育活動

- ① 併設の特別支援学級との交流学級を設け、交流共同支援員の協力のもと、教科の学習活動や日常的な交流を積極的に行う。また、特別支援学校との副籍交流や障害のある方との交流を通して、障害者理解を深め、相互に認め合い、支え合おうとする態度を育む。
- ② 図画工作科や家庭科の作品等、1年間の作品を展示する「アートフェスタ」（作品展）を実施し、児童の学習の目標の場や成果を認め合う場とする。
- ③ 体力調査の結果を基に、自分が高めたい体力や運動技能を児童が自ら考え、取り組むように意識付けを行う。また、長縄跳びや短縄跳びなど自己の記録に挑戦する「大野田ギネス」、日常的に運動に親しむ環境作りなど、体力向上や体を動かす習慣づくりに努める。
- ④ 食育チームを中心に、毎月19日を「食育の日」に設定し、北町調理場と連携した栄養指導や給食指導画を基に推進し、食に関する実践的態度を育てる。
- ⑤ 発達段階に応じて、デジタル・シティズンシップ教育を行い、自律的・創造的に学習者用コンピュータを利活用し、積極的に社会参加する姿勢や情報活用能力を育む。
- ⑥ プログラミング教育を各学年5時間実施し、論理的思考を育む。
- ⑦ 1・2年生は英語活動を年間8時間実施し、英語に慣れ親しみ、国際理解を深める。
- ⑧ 地域コーディネータを窓口として、よりよい地域・社会づくりに向けて、新たな課題を見つけ探究する学習を展開する。地域の諸機関（青少協、クリーンセンター、地域大学、コミセン、中央図書館、福祉作業所、福祉の会等）と連携し、地域の特徴やよさを知るとともに武蔵野市民科の取組を積極的に発信し、地域社会に開かれた学校づくりを進める。
- ⑨ 「開かれた学校づくり協議会」において教育目標や育成を目指す資質・能力の共有及び実現に向けた協働、学校評価（保護者アンケート・関係者評価）による教育活動の一層の改善・充実を図る。
- ⑩ 吹奏楽クラブの活動では、音楽に親しみながら、互いのよさを認め、高め合う経験を通して、個性の伸長と感性を育む。その際、地域協力者との連携による持続可能な運営体制づくりを進める。

境南小学校



校長 杉谷 努 副校長 水上 卓哉

所在地 境南町 2-27-27
TEL 0422 (32) 3401
0422 (34) 8371 (けやき学級)
0422 (32) 6140 (いとすぎ学級)
FAX 0422 (32) 1943
H P <https://kyounan-e.musashino-city.ed.jp>

主な沿革

- 昭和 26 年 武蔵野市立境南小学校設立
34 年 下校庭拡張工事完成
47 年 東校舎落成 開校 20 周年記念式典
48 年 いとすぎ学級 (病弱虚弱学級・武蔵野赤十字病院内) 開設
50 年 西校舎、給食棟、プール落成
55 年 けやき学級 (知的障害児学級) 開設
平成 元年 ランチルーム完成
13 年 世代間交流事業「ふれあいサロン」開講
「境南自然ガーデン (ビオトープ)」完成
15 年 読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞表彰
17 年 校舎耐震補強工事完了
23 年 理科園移設 境南子どもクラブ落成 開校 60 周年記念式典
25 年 下校庭一部芝生化
26 年 いとすぎ学級 40 周年記念式典
27 年 平成 26・27 年度武蔵野市教育委員会研究奨励校 研究発表会
28 年 体力向上推進優秀校受賞 オリンピック・パラリンピック教育重点校指定
29 年 小中連携教育研究協力校「武蔵野市民科(仮称)」
30 年 武蔵野市食育モデル校
31 年 武蔵野市モデル校 (武蔵野市民科実践)
令和 02 年 武蔵野市教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 中間報告会
03 年 開校 70 周年記念集会
03 年 武蔵野市教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 研究発表会
04 年 開校 70 周年記念式典・祝賀会
05 年 武蔵野市教育研究奨励校
05 年 武蔵野市教育委員会モデル校「学校・家庭・地域の協働体制に係る事業」

教育目標

- ① よく考える子 〈重点目標 1〉
- ② 進んで取り組む子 〈重点目標 2〉
- ③ やさしい子
- ④ 元気な子

特色ある教育活動

- ①児童が夢中になれる環境（教師・教材・教室）づくりを行うことで、自分の思いをもって他者とともに高め合う力を育てる。
- ②教育活動全体において、目的を意識し、課題解決に向けて自己選択及び自己決定することを積み重ねることで、自信と意欲を高めるとともに、学びを人生や社会に生かそうとする力を育てる。
- ③自ら課題を設定する学習活動や家庭学習、自主学習等を通して、学習を調整し、主体的に学習を最適化する力を育てる。
- ④学習者用コンピュータをはじめとしたICT機器を活用し個別最適な学びと協働的な学びを推進することにより、生きて働く知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ⑤一部教科担任制を導入することで、指導の工夫・改善や教材研究の充実、多角的・多面的な児童理解に生かし、各教科等における資質・能力を確実に育成する。
- ⑥生活科・総合的な学習の時間を中心に「武蔵野市民科」に取り組む。地域コーディネーター等と連携して地域の教育資源（人・もの・こと）を生かした探究的な活動を通して、「自立」「協働」「社会参画」に資する能力を育む。
- ⑦けやき学級・いとすぎ学級との交流及び共同学習や、特別支援教育に関する理解教育を推進することで、多様性や障害に対する理解と認識を深め、共に生きようとする態度を育てる。
- ⑧「スタートカリキュラム」を実施し、保育園、幼稚園、こども園等での学びや育ちを基に、児童が入学時から主体的に自己を発揮して学校生活を作ることができるようにするとともに、地域の保育園、幼稚園、こども園との連携を推進し、情報の共有並びに、児童理解や指導の改善を図る。
- ⑨体育的行事や文化的行事の計画や運営に児童も参画できるようにすることを通して、児童の主体性・協働性を育成する。
- ⑩自校給食の特色を生かして、食生活についての正しい知識や技能とともに、食物を大事にする気持ちや生産や調理に関わる人への感謝の気持ちを育てる。
- ⑪武蔵野赤十字病院や家庭、地域と連携しながら保健指導等の健康教育を実施することで、心と体の健康についての関心や理解を深め、望ましい生活習慣における自己管理能力を育成する。



本宿小学校

校長 越前 信 副校長 榊原 奈美

所在地 吉祥寺東町4-1-9

TEL 0422(22)4723

FAX 0422(21)7692

H P <https://honjuku-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 27年 武蔵野市立本宿小学校開校
30年 武蔵野市研究奨励校 (社会科) 研究発表
37年 武蔵野市教育研究協力校 教育評価に関する研究発表
54年 校舎落成記念式典挙行
57年 武蔵野市研究奨励校 研究発表
平成 元年 ランチルーム落成記念式典挙行
7年 都ボランティア協力校 (7・8・9年度)
10年 都消費者教育・環境教育等課題研究校 (10・11年度)
12年 武蔵野市教育研究奨励校・総合的な学習の時間 (12・13年度)
14年 武蔵野市教育研究奨励校・全教科領域 (14・15年度)
15年 文部科学省環境教育実践モデル校 (15・16年度)
18年 武蔵野市教育研究奨励校 (道徳) 研究発表
19年 図書室の全面リニューアル
22年 武蔵野市教育研究奨励校 (社会科・生活科) 研究発表
23年 普通教室空調設備設置
25年 武蔵野市教育課題研究開発校 (防災教育) 研究発表
26年 武蔵野市防災教育モデル校
27年 武蔵野市学校安全教育モデル校 全国・東京都学校安全教育研究大会開催校
29年 特別支援教室 (はなみずき教室) 開設
30年 武蔵野市教育研究奨励校・国語科 (29・30年度)
31年 武蔵野市教育研究奨励校 (国語科) 研究発表
親子方式給食開始
令和 2年 体育館冷暖房機設置
令和 4年 開校70周年記念式典挙行

教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、心豊かにたくましく生きることのできる、心身ともに健康で知性と感性に富んだ児童の育成を図る。

◎心の豊かな子 考える子 ○ねばり強い子 元気な子 はたらく子

<重点目標> 「心の豊かな子」 「ねばり強い子」

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・人権教育を要とし、互いの違いを尊重し、多様性を認め合う態度を育む。
- ・「特別の教科 道徳」を要とし、教育活動全体を通じて組織的に道徳教育の充実を図り、児童一人一人の自己肯定感を高め、いのちの大切さや思いやりの心を育む。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業実践や授業改善を行い、各教科の「見方・考え方」を働かせた学びの充実を図る。
- ・学習者が主体となる問題解決的な学習を実施し、課題を見付ける力や思考力・判断力・表現力を育成し、予測困難な時代を生きる力を育む。
- ・保健指導や運動の日常化を推進し、意欲的に活動することができる児童を育成し、健康的な生活習慣を身に付け、丈夫な身体やたくましい心を育てる。
- ・全教育活動を通して健康、安全に関する教育・食育を推進し、自分の健康や命を守る生活習慣や危険から身を守る方法を考えて行動する力を身に付けられるようにする。
- ・感染症の予防に努めながら、学校の新しい生活様式を踏まえた教育活動を行う。
- ・自己の目標の達成に向けて取り組む活動や努力して成し遂げる活動を充実させ、最後まで諦めずに取り組む力を育む。
- ・児童の成長や課題を家庭と共有し、連携を図りながら、個に応じた指導や支援を行い、やり抜く力を育成する。
- ・日常の学級活動や行事等の実施方法を工夫し、集団の一員として自分の役割に責任をもち果たそうとする態度を育む。
- ・異学年交流や清掃、委員会等の活動の充実を図り、人の役に立つ喜びを味わえるようにし、自己有用感を育む。

特色ある教育活動

- ① はとの子発表会・作品展等を通して、児童の表現力や豊かな情操を培うとともに、自主性や責任感を育み自信と意欲を高める。
- ② 全学年で「SOSの出し方に関する教育」を保健、特別活動等に位置づけ、年間1単位以上実施し、困ったときに相談する力を育成する。
- ③ 地域人材を活用した学習を継続させるため、地域連携教育を年間指導計画に位置付ける。担当教員を複数指名し分掌として組織化し、ゲストティーチャー等地域の教育資源を活用した特色ある教育活動に組織的・計画的に取り組む。また、地域人材リストを更新し、積極的に活用する。
- ④ 不登校支援として、「学習室」の取組や運営をNPO 法人と連携して充実させていく。また、全教職員で共通認識するため、学習室グランドデザインを活用する。定例連絡会を開き、児童が安心して過ごせる居場所をつくる。
- ⑤ 食育全体計画に基づき、交流給食、卒業お祝い給食会、リザーブ給食、世界の料理献立月間等を実施し、食育リーダーを中心に栄養士・給食調理員と担任とが連携し、望ましい食習慣づくりを行う。
- ⑥ 第3～6学年の社会科・理科等において、学年内で教科担任制を実施し、学年内で児童理解を深めるとともに、授業の質的向上を図る。
- ⑦ 体力づくり週間を年間6回設定し、体を動かす活動を充実させ、児童の体力の向上を図る。
- ⑧ 吹奏楽団の活動において、音楽を通じて豊かな情操と協調性を養う。学校行事やファイナルコンサート、ジュニアバンドジョイントコンサート等での演奏を通し、日常の練習の成果を発表する。

千川小学校



校長 齋藤 晃 副校長 雨宮 加奈

所在地 八幡町3-5-25

TEL 0422(51)3695

FAX 0422(55)5039

H P <https://senkawa-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 29 年 武蔵野市立関前小学校として開校
42 年 武蔵野市立千川小学校と校名変更
平成 2 年 新校舎基本構想発表
3 年 武蔵野市研究奨励校（特別活動）研究発表
4 年 全国道徳特別活動教育研究会会場校
新校舎基本計画発表
5 年 東京都小学校放送教育研究大会開催
新校舎改築工事着工
7 年 新校舎棟落成・開校 40 周年記念式典挙行
体育館棟改築工事着工
8 年 体育館棟落成
10 年 武蔵野市教育研究校（算数）研究発表
11 年 武蔵野市教育委員会教育研究奨励校
12 年 自然体験園（わくわく広場）開園式
13 年 武蔵野市教育委員会ホームページ活用モデル校
16 年 武蔵野市教育研究奨励校（算数）研究発表
開校 50 周年記念式典挙行
18 年 武蔵野市教育研究校（体育）研究発表
20 年 武蔵野市教育研究校（道徳）研究発表
21 年 武蔵野市教育課題研究開発校（特別支援教育）研究発表
24 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成 24 年・25 年度）指定
25 年 武蔵野市教育課題研究開発校（算数・ICT 機器の活用）研究発表
26 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
開校 60 周年記念式典挙行
28 年 第 17 代 河村祐好校長着任
28 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成 28・29 年度）指定
29 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
令和 2 年 開校 65 周年記念集会 SENKA 輪ハッピーフェスタ開催
4 年 第 18 代 齋藤晃校長着任

教育目標

(1) 学校の教育目標 (◎重点目標)

人間尊重の精神と豊かな心の育成を基盤とし、生涯学習の基礎を培う学習をすすめ、心身共に健康で、主体的に学ぶことのできる人間性豊かな児童を育成する。

- ◎よく考える子ども 自主性と創造性を伸ばし、生涯にわたる学習の基礎を培う。
- 仲良く助け合う子ども 相手の気持ちを感じ取れる感性や思いやり、誰とでも仲良くできる協調性や社会性を養う。
- 明るく元気な子ども 自他の生命を尊び、健康で主体的な生活ができるような心と体を育てる。
- すすんで働く子ども 地域の一員としての自覚をもち、勤労と責任を重んじる心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ◎①オープンスクールの特色を生かし有効活用した複線型の学習を展開する。また、全教職員が「全校担任」の意識をもって全ての児童の指導に当たり、支援を充実させる。
- ②「ラーニングセンター」では芸術家や児童、地域の方による千川小アートギャラリー「ふれあいホール」では児童の音楽・演劇、学習発表やプロの演奏会などを行うことで創造力と表現力を養い、豊かな感性と情操を培う。
- ◎③学校図書館モデル校の実践を生かし、学校図書館の「学習ステーション」「情報ステーション」としての機能を高め、課題解決能力を育成する。また、学校司書や市立図書館と連携し、全校読書や年2回の読書ウィークス、読み聞かせ等の活動を充実させることにより、読書に親しもうとする態度、豊かな感性や情緒を育むとともに知的好奇心や創造力、表現力を育成する。
- ◎④自然観察園「わくわく広場」での自然との触れ合いや栽培活動を行い、自然保護や環境保全に向けて主体的に行動する態度を育成する。
- ⑤外部人材や地域農業関係者、青少協など地域の方々や千川おやじ〜ず（PTA内組織）との連携を積極的に深め、地域・保護者と一体化した学校づくりを行う。
- ⑥開かれた学校づくり協議会、保護者、児童や教職員による学校評価の結果を基に、教育活動の成果と課題の検証を行い、学校運営の改善と発展を目指す。
- ⑦ボッチャ体験等を取り入れた総合的な学習を通して、体力向上や健康づくりに自ら取り組む態度や、公正・公平な態度、日本の文化と共に異文化も理解しようとする態度を育成する。
- ⑧朝の時間などを利用し、月1回保健指導と栄養指導を行うことで、健康的な生活について理解を深めるとともに自身で健康増進への意識を高めるようにする。
- ⑨「千川小合唱団」の活動を通して歌う楽しみや鑑賞する喜びを味わわせ、豊かな情操と個性の伸長を図る。
- ⑩令和6年度の開校70周年記念事業を通して地域コーディネーターや地域の諸機関と連携し、地域のよさを知るとともに学校の取組を積極的に発信し、地域社会に開かれた学校づくりを進める。

井之頭小学校

校長 小澤 香子 副校長 大澤 史典



所在地 吉祥寺本町3-27-19
TEL 0422(51)7188
0422(51)7500 (かわせみ教室)
FAX 0422(55)5049
0422(51)7500 (かわせみ教室)
HP <https://inokashira-e.musashino-city.ed.jp/>

【 主な沿革 】

- 昭和30年 武蔵野市立井之頭小学校開校
31年 校歌制定
50年 校舎落成式
51年 東京都愛鳥モデル校に指定
平成10年 富士宮市立井之頭小学校と交流開始
14年 校庭ビオトープ設置 太陽光発電装置設置
15年 東京都消費者・環境教育課題研究 全国学校ビオトープコンクールにて奨励賞
18年 東京都愛鳥モデル校「第60回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて環境大臣賞
武蔵野市教育委員会教育研究校研究発表（算数・情報）
20年 武蔵野市教育委員会研究奨励校研究発表（国語）
23年 東京都教育委員会人権教育推進校研究発表
26年 情緒障害等通級指導学級「かわせみ学級」開級
27年 「第69回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて文部科学大臣奨励賞
開校60周年記念式典
28年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表（算数）
令和元年 東京都教育委員会プログラミング教育推進校
武蔵野市教育研究奨励校として研究報告
4年 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表

【 教育目標 】

人権尊重の精神を基盤とし、心身共に健康で知性と感性に富み、たくましく生きる児童の育成を図る。そのために次の目標を設定する。

◎すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○きたえる子 (◎は重点目標)

「すすんで学ぶ子」の育成

- 各教科等において「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善を推進することを通して、生きて働く知識及び技能の確実な習得と未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- 学習者用コンピュータを適切・安全に活用することを通して、ICT 機器を有効に活用する力を高め、将来に渡り主体的に学習に取り組む意欲の向上と態度の育成を図る。
- 地域の人材や教育的資源を活用した教育活動を推進することで、よりよい地域・社会づくりを考え、他者と協働してよりよい生活を築こうとする資質や能力を育成する。

「心豊かな子」の育成

- ・他者と協働しながら問題発見、課題解決を積み重ねる特別活動を充実することを通して、集団の一員としてよりよい生活を主体的に追究しようとする態度を育てる。
- ・家庭、地域、関係機関と連携を図りながらいじめ防止に向けた取組を推進することで、互いのことを認め合おうとする態度を育てる。
- ・他者と協働しながら問題発見、課題解決を積み重ねる特別活動を充実することを通して、集団の一員としてよりよい生活を主体的に追究しようとする態度を育てる。

「きたえる子」の育成

- ・児童の実態を把握した上で、体育的な活動を充実すると共に、運動することの楽しさを味わい、主体的に体力の向上に取り組もうとする資質・能力を育成する。
- ・食育を推進することで基本的な生活習慣を身に付け、家庭と連携して健康で安全な生活を送ろうとする資質・能力を育てる。

【 特色ある教育活動 】

- ・デジタル・シティズンシップ教育に取り組むことを通して、ICTを自律的、創造的に活用し、安全な生活のために適切に意思決定し、行動する力を育む。
- ・毎月1回「朝の情報モラル指導日」を設定して指導を行うとともに、児童主体の「学習者用コンピュータ使用の約束」を決め、児童がICTを利活用できる態度やスキルを育てる。
- ・「学校2020レガシー」として、手話朝会や特別支援の理解教育を全学年で計画的に実施することで、多様性への理解を深め、自他を認め合う態度を育む。
- ・休み時間の外遊びを推進するとともに、児童が中心となって企画する体力づくりの取組と自らの体力向上や健康づくりに取り組む意欲や態度を育成する。
- ・幼稚園、保育園、子ども園での学びや育ちをもとにして「スタートカリキュラム」を推進し、児童が入学時から主体的に自己を発揮して学校生活を作ることができるようにする。
- ・愛鳥モデル校としての探鳥会などの愛鳥活動や、井の頭恩賜公園や学校ビオトープ等を活用した動植物の観察、ふれあいの活動を通して、身近な自然環境に対する関心を培うとともに、動植物を慈しむ心と態度を養う。
- ・和楽器（琴、三味線など）の演奏を通して、音楽の楽しさや美しさを味わいながら日本の伝統文化に対する理解を深める。

【 特別支援教育 】

- ・特別支援教育コーディネーターを中心として、校内委員会、ケース会議を計画的に開催し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を適切かつ迅速に行う。また、サポートスタッフの活用や、専門家スタッフ、都SC、市派遣相談員などとの連携強化に努める。
- ・在籍学級と特別支援教室、個別支援教室の役割分担を明確にしながら相互に情報を共有し、学校生活支援シート、個別指導計画及び合理的配慮に基づいた指導を推進する。
- ・特別支援教室での実践事例を生かし、校内の収納や全体をユニバーサルデザインの視点に立った、学習環境に整える。

関前南小学校



校長 鈴木 健太郎 副校長 土井 玲子

所在地 関前3-37-26
TEL 0422(53)7655
FAX 0422(55)5097
H P <https://sekimaeminami-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

昭和	46年	市立関前南小学校の創設
	56年	開校10周年記念式典挙行
	61年	子ども相撲用の土俵完成
	62年	小学校体育研究会研究協力校 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
平成	2年	特色ある教育活動として吹奏楽団を組織
	3年	開校20周年記念式典挙行
	4年	東京都人権尊重教育推進校 教育研究奨励校として研究発表
	7年	武蔵野市教育研究校として研究発表 セカンドスクール開始
	8年	武蔵野市教育研究奨励校(～平成9年まで)
	12年	武蔵野市教育研究校として研究発表
	13年	開校30周年記念式典挙行 市教育研究奨励校 太陽光パネル設置
	15年	プレセカンドスクール開始 地域児童館あそべえ開設
	16年	ビオトープ完成
	17・19年	武蔵野市教育課題研究開発校として研究発表
	21年	武蔵野市教育課題研究奨励校として研究発表
	22年	吹奏楽クラブ第29回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
	23年	開校40周年記念式典挙行 吹奏楽クラブ第30回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
	25年	吹奏楽クラブ第13回東日本小学校吹奏楽大会銅賞 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
	26年	吹奏楽クラブ第14回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
	27年	吹奏楽クラブ第15回東日本小学校吹奏楽大会銀賞 連続3年出場の表彰を受ける
	28年	武蔵野市教育研究奨励校として研究発表 吹奏楽クラブ第35回全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会金賞
	30・31年	武蔵野市教育研究奨励校
令和	3年	開校50周年記念式典挙行
	4・5年	武蔵野市教育課題研究開発校として研究発表

1 教育目標

自らの人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる児童の育成を目指し、以下の目標を定め、「また明日行きたくなる学校」をキーワードに教育活動を推進していく。

人間尊重の教育を基盤として、心身ともにたくましく、情操豊かで創造力に富み、生涯にわたって自己陶冶をめざす児童を育成する。さらに、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を培う。

ア しっかり考える子ども[重点目標] イ すなおでやさしい子ども ウ 元気な子ども

2 基本方針

ア 「しっかり考える子ども」を育成するために

- ・見方、考え方を生かし、学びを深めることのできる主体的・対話的な教科指導の推進
 - ・授業改善推進プランを基にした、教員の授業力向上と児童の学びに向かう力の涵養を図る学習過程・単元づくりの推進
 - ・思考力・判断力・表現力を育むための言語活動の充実と学校図書館の活用
 - ・対話を通して多様な考えを共有し、生かすとともに解決策を見出す教育活動の推進
 - ・キャリア・パスポート等を活用した、今の自分を見つめ直し、自信を高める教育活動の推進
 - ・外国語・外国語活動を中心とした、国際社会への視野を広げる教育活動の推進
 - ・総合的な学習の時間・生活科を中心とした、教科横断的で組織的・計画的な地域を生かした教育活動の充実
- イ 「すなおでやさしい子ども」を育成するために
- ・挨拶を通じた、互いに認め合い尊重し合う関係の構築
 - ・ともに作り上げる「関前スタンダード」を活用した、児童一人一人の規範意識の醸成
 - ・多様な他者とのかかわりを通して多様な価値観を認め合う道徳教育の充実と人権尊重教育の推進
 - ・よりよい地域づくりに参加する意識醸成
 - ・異学年交流を通じた人間関係と他を思いやる心情の育成
 - ・家庭・地域と連携し、情報共有した上での好ましい人間関係の育成
 - ・個を大切に生活指導の推進
- ウ 「元気な子ども」を育成するために
- ・日常的な運動の場と多様な取組の充実
 - ・生涯を健康で安全に過ごすための、自らの心身を大切にする素地の醸成
 - ・食育および健康教育の充実

3 特色ある教育活動 ◎は特に重点を置く事項

- ・生活科や総合的な学習の時間を中心に、教科等横断的に人生や社会を豊かにするために必要な「自立」「協働」「社会参画」の視点を取り入れた取組みを推進する。具体的には武蔵野市という教材を生かした市民性を育む教育活動や「武蔵野市民科」を、地域コーディネーターと連携し、地域人材・地域の特性を生かす。
- ◎学習者用コンピュータの活用により、見つけた情報を活用しながら、他者と協働することができる、プログラミング・論理的思考力の育成および、デジタル・シティズンシップ教育を、年間計画を基に月2回朝の時間に「情報の時間」として実施し、家庭と連携し全教育活動を通して推進していく。
- ◎「第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画」に基づき、「読書」「学習」「情報」センターとしての学校図書館の活用や、「読書動機づけ指導」や朝読書、保護者読み聞かせや委員会活動、ビブリオバトルやブックトークを通じた多様な読書活動の推進を、学校司書と連携し推進していく。
- ・増築校舎工事の関係で、地域とともに土俵を生かして行う「関前場所」は実施できないが、伝統文化に触れる経験や、互いに競い合うことの大切さ、きまりを尊重する礼儀正しい態度、勝敗にこだわらず相手を思いやる心の育成を図り、次年度へ継続していく。
- ・吹奏楽クラブの活動や発表を通じた、音楽に親しむ態度や協力する態度、粘り強くやりぬく力の育成を図る。
- ・学校だより、学年・学級だよりを活用し、学校・学年・学級の情報を適切に発信するとともに、学校ホームページを活用し、学校運営や教育活動について、保護者・地域に広く周知する。
- ・PTAとの連携、「開かれた学校づくり協議会」「学校関係者評価」、インターネットを活用した「学校評価」「保護者・地域アンケート」を通して保護者・地域の考え・意見を収集し、教育活動の改善・充実を図る。

桜野小学校



校長 藤橋 義之 副校長 山口 武志

所在地 桜堤1-8-19
TEL 0422(53)5125
0422(53)5651 (こぶし教室)
0422(54)8655 (こだま学級)
FAX 0422(55)5071
H P <https://sakurano-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 平成 8年 武蔵野市立桜野小学校開校 開校式典挙行、校歌と校章を制定する
14年 体育館・通級学級棟完成
15年 ビオトープ完成
18年 開校10周年記念式典挙行
22年 北校舎増築工事完了 自校式給食開始
24年 武蔵野市教育課題研究開発校(2年次) 研究発表会開催
26年 西校舎増築工事完了
27年 武蔵野市教育研究奨励校(3年次) 研究発表会開催
28年 開校20周年記念式典挙行
29年 特別支援教室「こぶし教室」開設
30年 個別支援教室「さくらのステップルーム」開設
令和 2年 特別支援教室拠点校増設に伴いこぶし教室の巡回校が桜野小、第二小、境南小となる
3年 東京都教育委員会表彰「健康づくり功労(学校給食分野)」優秀学校受賞
4年 武蔵野市教育課題研究開発校(3年次) 研究発表開催
「フリールーム」設置
5年 「スタートカリキュラムルーム」設置

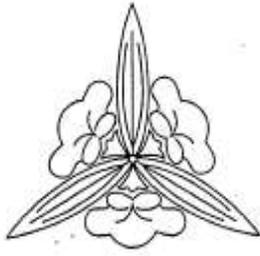
教育目標

- ◎ 思いやりのある子ども
- 自分の考えをもつ子ども
- 明るく元気な子ども

特色ある教育活動

- ・ 第1学年の授業時数外で年間6時間、第2学年の授業時数外で年間9時間、ALTを活用した英語遊びの時間を設定し、小学校6年間を通しての英語教育の充実を図る。
- ・ 学級での音楽活動や全校での音楽朝会、専門家を招いた鑑賞教室、4年生以上で構成される吹奏楽クラブの活動を通して、音楽を愛好する心や仲間と共同でやり抜く態度を育てる。
- ・ 多様なスポーツ選手との交流や競技体験を通じて、誰とでもスポーツや運動に親しむことができる知識技能の習得や態度を育てる。
- ・ 小1ギャップの解消に向け、就学前園児や教職員交流、施設見学等の保幼子小連携事業を立ち上げ、円滑な小学校生活がスタートできるようにする。また、第1学年の4月から45時間程度、教科と関連させた「武蔵野スタートカリキュラム」を実施する。
- ・ 保護者との連携・理解のもとに個別支援教室「さくらのステップルーム」を通して、算数の四則計算に特化した個別の学習状況に応じた指導を行う。
- ・ 外国語活動及び外国語、音楽科、家庭科、図画工作科、国語科の一部において、専科教員や市講師を配置し、専門的かつ一貫性のある指導を行う。
- ・ 全校での朝読書、第1～3学年まで拡大した図書指導専門の市講師の配置や桜野ボランティアによる読み聞かせ、第3学年での読書動機付け指導、学校司書や学校図書館システムを活用した読書指導の機会や時間を充実させ、言語能力を高めるとともに豊かな情操を育む。
- ・ 特別支援校内委員会や教育相談部会が中心となって、2名のスクールカウンセラーと市派遣相談員、学校と家庭の連携支援員、SSW、TA、SSの計画的な活用を行い、一人一人の教育的ニーズに応じた支援体制の充実を図る。
- ・ 自校給食の利点を生かし、栄養士や調理員と連携した「さくらのクッキング」、栄養指導や食農指導、委員会活動を中心にした食育の充実を図り、望ましい食習慣の定着や食文化への理解を深める。
- ・ 地域コーディネーターを中心とした地域の教育資源（商店や福祉・大学・各協議会等の施設や人材）の学習活動への活用によって、体験活動や実技指導の専門性を高める。
- ・ 各種便りをホームページに掲載し、広く学校の方針や教育活動を広報する。また、学区内のコミュニティセンターに学習の成果物の展示などを依頼し、情報発信の機能の充実を図る。
- ・ 学校公開の機会の拡大や各種アンケートの実施とその返信等、4回の開かれた学校づくり協議会を通じて保護者のニーズや地域関係者の意見を集約し、随時、学校運営の改善を図り、開かれた教育課程の実施を推進する。

第一中学校



校長 中嶋 建一郎 副校長 岡田 正

所在地 中町3-9-5
TEL 0422(51)8041
0422(51)1136 (エコールーム)
FAX 0422(55)5186
H P <https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 22年 町立武蔵野第一中学校設立
市政施行により武蔵野市立第一中学校と校名変更
- 28年 校歌制定
- 38年 新校舎落成
- 57年 体育館・特別教室・プール落成
- 59年 難聴学級(エコールーム)開設、視聴覚教育全国大会開催
- 63年 新音楽室(音楽ホール)落成
- 平成 2年 武蔵野市研究奨励校(学年・学級経営)研究発表
- 5年 コンピュータ室完成
- 6年 文部省「教育課程実施調査協力」指定校(2年間)
- 9年 創立50周年記念式典挙行
- 11年～ 文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」委託校、放送機器改修
- 17年～ 東棟内装改修工事(順次3年間)、東棟・西棟WC改修工事、
東門改修工事完了(順次2年間)
- 19年 創立60周年記念式典挙行
- 21年 学校給食開始、東・西棟耐震補強工事完了
- 22年 市教育研究奨励校(道徳)研究発表
- 23年 空調設備設置工事完了
- 25年 雨水貯留浸透施設設置工事完了
太陽光発電設備設置工事完了、グラウンド整備工事完了
- 26年 都言語能力向上拠点校(2年間)、非常災害用トイレ設置工事完了、
ガラス飛散防止フィルム貼替工事完了
- 27年 研究発表会「思考力・判断力・表現力の育成」～言語活動の充実を通して～
- 28年 電子黒板機能付プロジェクター設置
- 29年 開校70周年記念式典挙行
- 31年 体育館空調機設置
- 令和 2年 新型コロナウイルス感染拡大予防のため臨時休業(3/3～3/25、4/8～5/31)
- 3年 東京都人権尊重教育推進校として研究発表会「豊かな人権感覚をもつ生徒の育成」
～自尊感情を高める教育活動の工夫～
- 4年 校舎改築工事開始

教育目標

- 正しく判断し進んで実行できる人間になろう
- 思いやりのある心豊かな人間になろう
- 心身ともに健康で明朗な人間になろう

特色ある教育活動

- ① 地域との連携による一中フェスタ（青少協・地域・保護者の協力による体験活動）の開催、各種地域まつり、関係小学校の運動会、青少協の行事、地域防災訓練への運営参加などの取組を通じて、学校・家庭・地域の連携を一層強化し、健全育成を図るとともに生徒の市民性を育む。
- ② 年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことによって、気持ちを落ち着かせて授業に入る習慣を身につけさせるとともに、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。
- ③ 生徒に「授業理解度調査」を実施し、各教員がその結果を分析することにより、よりよい授業づくりに生かしていく。
- ④ 放課後の図書館開放を学校図書館サポーターや地域人材と連携して取り組み、恒常的な読書習慣の形成を図り、豊かな心や情操を育み、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、表現力の伸長を図る。そのために、本を身近に感じられる環境を整えていく。
- ⑤ 「地域の教育力」の活用、生徒会のハートカード（地域高齢者へのお便り作成）活動、人権理解学習、ユニセフ募金活動を通して、社会奉仕の精神や人権教育を充実させ、地域との連携を一層深めるとともに、生徒の市民性を育む。
- ⑥ 体育祭では、全校体制で集団演技や学年種目、全員リレー等に取り組み、互いに協力することで、運動に対する肯定的な意識を高め、主体的に運動に取り組む姿勢を育むとともに、市内連合陸上競技大会や部活動などの様々な機会を通して体力の向上を図る。
- ⑦ 第一中学校ブロックの小・中学校合同研修会を通して、生活指導や学習指導に対する情報交換等を行うとともに、小学生を対象とした体験授業及び部活動体験の実施等により、連続性のあるきめ細かな指導を充実させる。また、小・中学校の学校行事の相互協力を行う。
- ⑧ 「学校2020レガシー」として障害者スポーツに触れる機会を設定し、オリンピック・パラリンピック教育をこれからも継続していく。
- ⑨ 学校公開や学校公開週間等により、広く教育内容を公開し、保護者や地域の意見を取り入れながら、開かれた学校づくりを推進する。また、ホームページ・各種たよりによる積極的な情報発信を行い、教育活動の相互理解に努める。
- ⑩ 救命救急講習、防災訓練を命の大切さを学ぶ学習場面と捉え、自他の生命を尊重する心を育てる。また、それらの取組や地域行事等への参加を通し、地域や保護者との一層の連携・協働に努め、市民性の育成を図り、地域社会・行政と連携しながら、実践的な地域防災教育を推進する。
- ⑪ 土曜授業に対する振替休業日、事務整理日、長期休業中の学校閉庁日の設定等により教職員の働き方改革に取り組み、教職員が誇りとやりがいを持って働けるよう職務の効率化を図ることにより、教育の質の向上を目指す。

第二中学校



校長 菅野 由紀子 副校長 田中 淳一

所在地 桜堤 1-7-31
TEL 0422 (52) 2148
0422 (54) 9103 (こぶし教室)
FAX 0422 (55) 5194
HP <https://dai2-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 24 年 市立第二中学校の開校、校歌制定
28 年 5 月 10 日を開校記念日と定める
43 年 新鉄筋校舎完成 (現在に至る)
54 年 情緒障害学級 (こぶし学級) 開設
60 年 重層式体育館完成
平成 3 年 東京都学校保健優良校として表彰
5 年 コンピュータ室等増築工事完了
4~6 年 都ボランティア活動普及事業協力校
11 年 武蔵野市教育研究校 (平成 13 年度まで)
14 年 校舎東棟内装工事着手、教育目標の改訂
16 年 ティーチングアシスタント事業実践校 校舎東棟内装工事完了
19 年 屋上防水等改修工事、受水槽更新工事、派遣相談員配置
20 年 校舎東棟・校舎西棟耐震補強工事、校舎西棟天井改修完了、学校給食開始
22 年 校舎東棟トイレ改修工事
23 年 こぶし学級二中校舎内に移転、屋上太陽光発電システム稼働開始
27 年 武蔵野市タブレット導入校
29~30 年 武蔵野市小中連携教育研究校~小・中学校教員の相互乗り入れ授業実施
30 年 東京都道徳教育推進拠点校
令和 元年 開校 70 周年記念式典挙行
2 年 特別支援教室 (こぶし教室) 開設・拠点校
3 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校 (武蔵野市民科)
学習者用コンピュータ貸与開始
4 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 研究発表

教育目標

- 進んで学習する人 ○心身ともに健康な人 ○夢の実現を目指す人

特色ある教育活動

- ①生徒の学習習慣、学習規律を確立する一つの方策として、現在各学年が始業時の時間を有効活用して取り組んでいる朝読書を継続し、知的好奇心や創造力を育み、穏やかに一日のスタートを切る時間とする。
- ②放課後や長期休業中の学習支援教室を継続し、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の確実な定着を目指す。
- ③「武蔵野市民科」の学習計画に基づき、自己発信力の向上を図りながら、合理的な解決策、納得解・最適解を見出す力の育成を推進する。また、全学年を通して SDGs への取組をさらに充実させると同時に、第 1 学年でのセカンドスクール、第 2 学年での職場体験、第 3 学年での修学旅行の学習については、事前や事後の学習活動との関連性を明確にして年間指導計画へ適切

に位置づける。

- ① 数学、英語以外のすべての教科においても生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導を行うために、学習指導補助員による支援の活用、年間を通じた学習相談、補充教室の実施など、基礎・基本を確実に習得する機会を設ける。
- ② 学校司書と連携した読書活動等の推進、図書館の利用拡大を図るとともに、学校図書館の蔵書を計画的に点検し、生徒が自ら学ぶ場として学校図書館の読書環境と機能を活性化させ、教育活動の充実を図る。また、読書感想文コンクールなどに積極的に取り組ませる。
- ③ 読書の楽しさや喜びを味わい、言語活動の基盤としての読書活動を充実させるため、教員を含めた全校一斉の朝読書の時間として、6月第2週と1月第4週の1週間を読書週間として位置付ける。期間中は朝読書の時間をさらに充実させるため、学校図書館担当教諭を中心に国語科や図書委員会・学校司書と連携し、生徒が本を読もうとする気持ちをさらに高める取組を行う。
- ④ 生徒の興味・関心・個性・特性を伸長する機会として部活動を開設する。異年齢集団で切磋琢磨し、協調性や達成感、多様性を認め合う活動の質の向上を図る。
- ⑤ 食育指導の一環として給食指導の充実を図ると同時に、食への正しい理解を深め、食を選択する力を習得し、望ましい食習慣を身に付けさせる。また、食物アレルギーの生徒への対応を全教職員で共通理解し、保護者と連携した安全な食の提供に努める。
- ⑨ 避難訓練・防災訓練は想定に様々な工夫を凝らし、生徒の危機回避能力の獲得を図る。また、教職員と生徒が地域と連携して防災力を高めるために、消防署や市防災課等とともに、地域防災訓練等を通して自助・共助・公助を学ぶことで市民性を高める
- ⑩ 職場体験学習サポート登録企業一覧の活用や地域の大学・企業などの知的環境及び市民文化団体などの文化的環境を生かし、職場体験学習や地域の行事への参加を通して、自分たちが生活する地域についてより深く知り、一市民としての意識を高め、地域に貢献しようとする態度を育成する。
- ⑪ 異校種（小学校、高校、大学）との連携や、地域の人材や資源の活用を図る。特に、地域の小学校とは生徒会を中心とした小学校訪問による小中の交流や、授業・外国語活動・部活動などを活用した双方向の活動を進めるとともに、教育課程の連続性に重点を置いた相互交流を深め、連携を計画的に推進する。また、生活指導等の共通理解の促進を図る。
- ⑫ 学校教育の質的向上を図るため、教職員が誇りとやりがいを持てる学校経営を目指し、ICTを活用した校務の軽減と組織的な業務の見直しを進める。

特別支援教育

- ① 中学校特別支援教室「こぶし教室」と教科担任、学級担任とが緊密に連携し、個に応じた適切な指導ときめ細かな自立支援を行い、心身の調和的発達を基盤を培い、学ぶ意欲の向上を目指す。
- ② 個別の指導計画や学校生活支援シート（個別の教育支援計画）に基づく適切な指導を行い、情緒の安定と対人関係の形成の基礎を養う。また、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会を週1回開催して必要な支援の検討を行い、保護者と連携して生きる力を育てる自立活動を積み上げながら、「こぶし教室」退級を目指していく。
- ③ インクルーシブ教育の理念を踏まえて、「障害を理由とする差別の解消に関する法律」（障害者差別解消法）に基づく合理的な配慮を行う。そのために、特別支援教室の教員の専門性を生かした双方向交流や協働を一層推進し、組織的な支援体制の確立を図り、一人一人の教育的ニーズに応じていく。



第三中学校

校長 竹山 正弘 副校長 松永 恵美子

所在地 吉祥寺東町 1-23-8

T E L 0422 (22) 1426

F A X 0422 (21) 7694

H P <https://dai3-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26 年 市立第三中学校の創設
28 年 校歌・校旗制定、理科教育研究発表
34 年 体育館完成
36 年 文部省実験校、国語科研究発表
47 年 都教委教育課程実験校 研究発表
54 年 文部省機器利用英語 教育研究発表
55 年 文部省帰国子女教育研究協力校
63 年 ランニングコース完成
平成 4 年 文部省機器利用英語教育研究指定校として研究発表
8 年 東京都教育委員会学校週 5 日制実施研究校として研究発表
13 年 開校 50 周年記念式典
15 年 都教育委員会少人数学習集団による指導法の研究推進校及び市教育委員会教育研究校として研究発表
19 年 武蔵野市・東京都授業力向上研究指定校として研究発表
20 年 校庭一部芝生化
21 年 雨水貯留浸透施設工事、校庭改修
23 年 開校 60 周年記念式典
25 年 理数フロンティア校指定校
26 年 オリンピック教育推進校
27 年 屋上太陽光発電設備設置
武蔵野市タブレット P C 活用モデル校
28 年 電子黒板機能付プロジェクター設置
29 年 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
令和 2 年 こぶし教室（特別支援教室）設置
3 年 武蔵野市学校図書館活用モデル校
開校 70 周年記念式典
令和 5 年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校「主体的に学習に取り組む態度の育成～指導と評価の一体化に向けた授業改善」（令和 6 年度まで）

教育目標

個性豊かな文化の創造と民主的な社会の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献できる、人間性豊かな社会人を育成することを目標として、次の標語をかかげる。この一つ一つを目標とするだけでなく、それらが一体となり、相関連し、相補うものとする。

知性豊かな人になろう 情味のある人になろう 品のよい人になろう
健康な人になろう 骨身を惜しまず働く人になろう

学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「知性豊かな人」を育成するために

各教科において基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、言語活動を充実させた授業を推進し主体的・対話的で深い学びを实践させることにより、思考力・判断力・表現力等を育成する。

イ 「情味ある人」「品のよい人」を育成するために

人権尊重の精神を基盤とし、教育活動全般を通し、一人一人がかけがえのない人間として互いを信頼し、尊重し合いえる人間関係を構築させ、豊かな心や感性を育成する。

ウ 「健康な人」を育成するために

健全な心身の育成のため、健康にかかわる教育活動等を通して、望ましい生活習慣の確立や体力の向上と心の健康の維持増進に努める態度を育成する。

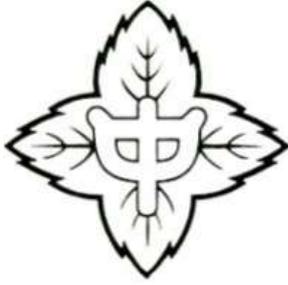
エ 「骨身を惜しまず働く人」を育成するために

文化・芸術活動やボランティア活動、自治活動を中心に生徒会活動を通して、生徒の自主性や協調性を育み、多様な社会に貢献できる生徒を育成する。

特色ある教育活動

- ・本校の教育理念である「責任ある自由」のもと、生徒の自主・自律を生かした教育活動を展開し、充実・発展させる。
- ・危険を予測し回避する能力や他者を守る能力などを身に付けるために、薬物乱用防止教育（セーフティ教室等）、交通安全教育（交通安全教室等）、防災教育（地域と連携した防災訓練等）を推進する。
- ・図書館担当教員を中心に、学校司書と連携し、ビブリオバトルなどによる言語活動の向上を図り、読書活動・情報センター機能を充実させる。
- ・学区小学校と合同研修会(研究発表会等への参加、学習指導、生活指導、進路指導、特別支援教育等)の実施、小・中学校9年間を見通した効果的な教育活動の充実を図る。また、スムーズな中学校生活につながるよう、小学校6年生を対象とした新入生交流会を実施する。
- ・地域人材を活用して、学力向上を目指した「土曜日・定期考査前の学習支援教室」や「夏休み学習教室」及び各種検定(英検・漢検・数検)試験への取組などを実施する。
- ・「ボランティア活動（高齢者の方との関わり、花の球根や苗のプラントづくり）」を中心とした生徒会活動、青少年問題協議会三中ブロックや地域の関係諸機関との連携を通して、地域や社会への理解を深め貢献しようとする意欲を育み、市民性を高める教育を推進する。
- ・武蔵野市給食・食育振興財団と連携して、教員と栄養士・調理員による合同調理実習等を通して、望ましい食習慣を身に付けさせ、健康な生活を送ることができる能力の育成に努める。
- ・朝読書期間を学期ごとに1回程度設定し、読書の習慣を定着させることを通して、豊かな感性や情緒を育み、知的好奇心や創造力、表現力を育成する。
- ・生徒の主体的な活動を支援し、部活動など自主的な活動で力を発揮できる場を設定する。

第四中学校



校長 若槻 善隆 副校長 酒井 義博

所在地 吉祥寺北町5-11-41
TEL 0422(51)7675・7676
0422(51)7677(群咲学級)
FAX 0422(55)5195
H P <https://dai4-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 28年 入学式、一中より2年生133名、新1年生122名
28年 第一期改修工事落成(元中島飛行機青年学校)
28年 徽章バッヂを制定(けやきの葉図案)
28年 開校式(この日を開校記念日と定める)
30年 第一回卒業式 卒業生144名
31年 群咲学級開設 2学級(木造校舎)
33年 校歌制定(作詩 川崎庸三、作曲 国枝重寿)
35年 体育館竣工
38年 十周年記念式典
40年 群咲学級新校舎落成
42年 プール施工工事完了
43年 十五周年記念式典、記念事業(岩石園造園)
44年 市研究指定校として学級活動研究発表
48年 二十周年記念式典、記念事業(花壇整備)
50年 校舎落成記念式典
52年 群咲学級、市研究協力校として教育課程の学習展開について研究発表
54年 いぶき学級校舎竣工
58年 三十周年記念式典
58年 いぶき学級開級十周年記念行事
61年 学校保健統計調査優秀校として文部大臣賞を受賞
61年 市視聴覚教育研究奨励校公開授業、研究発表
- 平成 元年 東京都帰国子女教育推進校 公開授業、研究発表
3年 いぶき学級校舎竣工、新校舎移転
3年 群咲、いぶき学級校舎落成記念式典
4年 体育館・温水プール等改築竣工記念式典
5年 四十周年記念式典
6年 東京都体力づくり研究協力校、公開授業、研究発表
11年 文部省スクールカウンセラー活用調査研究発表
15年 五十周年記念式典
21年 教育課題研究開発校、公開授業・研究発表(特別支援教育)
23年 空調設備工事完了
24年 校舎棟エレベータ工事完了
25年 六十周年記念式典
28年 屋上ソーラーパネル工事完了
29年 東京都スーパーアクティブスクール指定

教育目標

1. 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身共に健康で、人間性豊かな生徒の育成を目指す。また、生涯を通じて主体的に学ぶことのできる基礎を培う教育の視点に立って、次の目標を設定する。

○ 進んで学習しよう ○ 力をあわせて働こう ○ 励ましあって身体を鍛えよう

2. 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「進んで学習しよう」を達成するために

「進んで学ぶ力」「協働し考えを創り出す力」「学びを確かめ生かす力」を育成し、主体的に考え、他と協働し、より良い自分や社会のために生かそうとする態度と能力を育てる。

イ 「力をあわせて働こう」を達成するために

自他を敬愛し、自然や他者と共生していく心と態度を培うため、特別支援教育を推進し、道徳教育および人権教育の充実や多様性を認め、生かす教育の推進を図る。

ウ 「励ましあって心身を鍛えよう」を達成するために

心身ともに健康で活力ある生活を営むため、健康の促進と安全について理解を図るとともに、家庭と連携・協力して基本的な生活習慣の向上を目指す。

エ 3つの目標を達成するために

- 主体的・対話的で深い学びの充実（学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善）
- 全教育活動でSDGs（持続可能な開発目標）の達成を意識した取組の推進と「自立」「協働」「社会参画」に関する資質・能力を育む武蔵野市民科の実践
- 発達段階を踏まえた学習指導、生活指導、キャリア教育の充実
- 学習者用コンピュータを活用した学習指導や不登校傾向のある生徒の対応等、個に応じた生活指導の充実
- 地域の教育力による教育活動と学校評価を活用したPDCAサイクルの実践

3. 特色ある教育活動

- ①開校70周年の節目を迎え、記念式典だけでなく体育祭、四中祭、合唱コンクールを70周年記念行事とし、その内容の充実を図るとともに地域や先人に対する感謝の気持ち、四中生としての自覚や愛校心を醸成する。
- ②地域の協力のもと、1年次に救命講習、2年次に地域や諸機関と連携した防災訓練、3年次に福祉・介護についての体験的な学習を行い、体験的・奉仕的な活動を通じて、技能の習得と共に安全・防災・福祉に対する意識を高め、地域に貢献できる人材の育成を目指す。また、そうした活動を通して、多様性を認め生かすとともに、地域の一員であることを自覚させることで、将来を見据えた市民性の育成を図る。
- ③保健体育科において総合的な基礎体力の向上を目指し、6月から11月までの温水プールでの水泳指導、体力向上を目的としたトレーニングを取り入れる。
- ④学習者用コンピュータや通信機器を活用し、他者と協働して自己の考えを発信したり、深めたりするような指導の工夫を行う。また、「SNS 四中ルール」を周知し、一層の情報モラルの向上を図るとともに、メディアコントロールアンケート等を活用し、家庭ルールの見直し及びその実践を啓発するなど、デジタルシチズンシップ教育を推進する。
- ⑤開かれた学校づくりの一つとして、学年・学校だよりや学校ホームページの充実を図り、積極的に情報発信をしていく。また、年4回の学校公開や学校行事の公開によって、保護者・地域に常に開かれた学校づくりを推進していく。
- ⑥年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことによって、気持ちを落ち着かせて授業に臨む習慣を身に付けさせるとともに、望ましい読書習慣の形成を図り、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。また、配置時間が拡充される学校司書との連携を重視し、放課後の図書館開放の実施や中央図書館との連携を図っていく。
- ⑦セカンドスクールにおいては、群馬県みなみ町等の特色をふまえ、地域性、伝統・文化等をテーマにした事前学習を行い、現地での自然学習や農業体験における協働を通して、地域の方との交流や環境学習などの充実を図る。また、事後学習を通して生徒それぞれの体験を共有し、自然と人間が共生するみなみ町の持続可能なまちづくりから、社会の一員としてよりよい地域・社会づくりについて考える機会をもつ。

(1) 言語に関する能力の向上を図る指導の充実

◎朝の10分間の読書活動を励行し、進んで読書に親しむ態度を育て、読書の量と質の向上を図る。

- ・学校図書館サポーターと連携し、図書委員会を活用した生徒の読書週間の確立や読書環境を整備する。(作品紹介カードや本の工夫した展示)
- ・放課後に学校図書館を開放し、生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能を活性化させるとともに、市立図書館等と連携を図り、学校図書館を活用した教育活動の充実を図る。
- ・市民性を育成する教育「武蔵野市民科」の学びと関連させた、話すこと「発表」と話すこと「やり取り」に取り組むポスターセッションを全学年で行う。
- ・漢字、数学、英語の検定試験を奨励し、基礎学力の定着を図る。

(2) 小学校との連携協力

◎学区の小学校の第六学年児童に向けた体験授業、部活動紹介を生徒会が中心となって実施することで、自他を尊重し、協働して生活しようとする態度を育成する。

- ・学区の小学校との合同研修会を実施し、共通の課題に対する意見交換等を行い小中学校間の連携した取組の充実を図る。

(3) 学校・家庭・地域による協働

◎開かれた学校づくり協議会を各学期1回開催し、学校の教育目標や育成を目指す資質・能力の共有及び、実現に向けた協働を進める。

- ・「社会に開かれた教育課程」の実践として、学校・家庭・地域の交流を深め、保護者アンケートや学校関係者評価を実施し、その結果を踏まえた学校経営の改善を進める。
- ・学校・学年だよりや学校ホームページ、学校公開などを通して、学校の教育方針や特色ある教育活動、生徒の状況について情報発信に努める。
- ・学区の地域コーディネーターと連携した職場体験の実施、地域の人材を活用した学習支援教室、地域ボランティアによる生徒の生活支援など、地域の教育力を学校教育に積極的に取り入れる。
- ・家庭や地域と連携した地域美化活動や地域防災訓練を実施するとともに、生徒に地域行事やボランティア活動への参加を推奨することで、奉仕の心や市民性を育成する。

(4) 教育相談の充実

◎一人ひとりの生徒に対して必要な教育相談の環境を提供できるように、市派遣相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と協働し、教育相談機能を充実させる。

- ・不登校生徒等に対し組織的な支援をするために、教育支援センター、チャレンジルーム、むさしのクレスコーレ、家庭と子どもの支援員等の関係諸機関との綿密な情報の共有を図る。
- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策委員会を中心に組織的に対応を進める。
- ・教育相談機能を充実させるために、生活振り返りシートの活用やスクールカウンセラー及び市派遣相談員による個人面談を実施し、いじめや不登校等の早期発見、早期解決につなげる。

(5) オリンピック・パラリンピック教育の充実

- ・「学校2020レガシー」として、異文化交流やパラスポーツ体験等を通して、国際親善や平和に果たす役割を正しく理解し、進んで平和な社会の実現に貢献する意欲や態度を育成する。
- ・セカンドスクールでオリンピック長野冬季大会のレガシーにふれ、同大会の環境対策から環境保全活動についての理解を深める。

(6) 教職員の働き方改革による学校教育の質的向上

◎校務支援システムをはじめとしたICT化による業務改善を進めるとともに、生徒一人一台配布の学習者用コンピュータを効果的に活用した授業を推進することで、学校教育全体の質的向上を図る。

- ・各種研修会や都認定団体、民間団体の研究発表会への参加の環境を整え、教員の主体的な研修の機会を確保することで学習指導力の向上を図り、授業改善へとつなげる。

第六中学校



校長 鈴木 齊 副校長 田代 裕司

所在地 境3-20-10
TEL 0422 (53) 6311
0422 (32) 6140 (いとすぎ学級)
FAX 0422 (55) 5212
H P <https://dai6-jh.musashino-city.ed.jp/>

【主な沿革】

- 昭和 46年 武蔵野市立第六中学校開校（市立第二中学校、桜堤小学校舎を借用して発足）校章制定
48年 校歌制定
49年 病虚弱学級（いとすぎ学級）開設
52年 庭球（硬式）コート完成
56年 増築校舎完成
59年 学校視聴覚教育全国大会会場
- 平成 5年 コンピュータ室開設
6年 武蔵野市教育研究奨励校（コンピュータ）研究発表、体育館改修工事完了
7～9年 武蔵野市教育研究指定校、研究発表（パソコン通信）
11～14年 文部省・郵政省マルチメディア活用研究校
18年 東京都情報モラル教育実践モデル校研究発表
21年 西校舎棟耐震補強工事完了
23年 開校40周年記念式典、太陽光発電設備工事完了
24年 文部科学省美術科研修指定校、都中学校体育連盟研究奨励校（武道：相撲）
25年 都中学校体育連盟研究奨励校研究発表（武道：相撲）・無線LANパソコン導入
26年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問、いとすぎ学級40周年記念式典
28年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備工事完了
29年 非常災害用トイレ設置工事完了
30年 西校舎棟外壁改修1期工事
- 令和 元年 西校舎棟北側サッシ等改修工事、特別支援教室設置工事
2年 東校舎棟トイレ改修工事完了
3年 開校50周年記念式典、プール槽等改修工事完了

【教育目標】

1. 学校の教育目標

わたくしたちは創造する

未来に生きる人づくりをめざし たがいこに心を通わせ 真実を学び教える

武蔵野の自然を愛し 生命の尊さと働くことの喜びを知り 無限の可能性を追い求めていく

○力いっぱい自分の能力を伸ばそう ○みんなで考え実行しよう

○健康で心ゆたかな人になろう

2. 学校の教育目標を達成するための基本方針

○「力いっぱい自分の能力を伸ばす」生徒を育成するために

①全教育活動を通して、自分の良さや可能性を信じ、守られる権利を生徒自身が理解したうえで、目標や夢をもって力を発揮することで、自己肯定感や意欲を高める。

②学習指導要領の趣旨を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動を充実させ基礎的・基本的な学力の定着と学んだ内容の活用を目指し、分かりやすく、生徒の興味・関心を高められる授業の工夫・改善を図ることで、生徒が生涯にわたって能動的に学び続けることがで

きる力を育む。

○「みんなで考え実行する」生徒を育成するために

- ①学校行事や生徒会活動等において、生徒同士の関わり合いを大切にしながら、生徒の自主的・主体的な活動を重視し、成就感や達成感を味わわせるとともに、体験活動を基盤にして各学年が創意・工夫を図り、夢や希望のある自己の生き方を考えられる生徒の育成を推進する。
- ②一人一人の生徒が役割をもち、義務と責任の関係を考えながら自己の考えを述べ、互いに違う意見を認め合いながら、学び高め合える活動を設定し自他を尊重する力を育む。

○「健康で心ゆたかな」生徒を育成するために

- ①「特別の教科 道徳」の授業や人権教育、教育活動全般を通して、一人一人が互いに尊重し合う中で、自己肯定感や自尊感情等を育むことによって自他を敬愛する態度の育成を図り、あらゆる偏見や差別をなくす教育活動を推進し、いじめは絶対に許さない姿勢や態度を培わせる。
- ②家庭と連携・協力した基本的な生活習慣の向上を目指し、健康で規則正しい生活ができるよう、全教育活動を通して健全育成の推進を図るとともに、体育や健康・安全に関する教育活動を計画的に実践し、体力の向上と心身の健康の保持・増進を図る。

3. 特色ある教育活動

- ①年間を通して全校体制で朝読書に取り組むことによって、気持ちを落ち着かせて授業に臨む習慣を身に付けさせるとともに、望ましい読書習慣の形成を図り、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。また、図書委員会主催のビブリオバトルを実施し、生徒の豊かな感性や情緒を育み、表現力を育成する。
- ②武蔵野赤十字病院との連携による生命尊重の視点にたった教育（医師・看護師による授業）と本校が併設する病弱学級（いとすぎ学級）との交流や情報交換を通して、自他の生命や個性を尊重する精神を育成する。
- ③生徒の特性や実態に応じ、保健体育科の授業と関連させ、学校全体の一校一取組の内容として陸上競技大会やマラソン大会の事前の練習等を意図的・計画的に実施し体力の向上を目指す。
- ④家庭や地域社会との連携を強め、地域に貢献する意欲や態度を育てるような場や機会を積極的に提供し生徒の市民性を高める。そのために、学習教室、講演会、家庭科の授業における保育園等の訪問、協働的な学びの一つとして生徒会主催の地域清掃、花活動を実施し、地域の祭りやボランティア活動、文化祭、関係小学校の運動会ボランティア等への積極的な参加を促していく。
- ⑤自然や文化に触れ、産業を学んだり職業を体験したりする行事などを推進することにより、奉仕の心や社会性、責任感や望ましい勤労観とともに、豊かな心を育てる。そのために、セカンドスクールでの民泊体験や農業体験、職場訪問・職場体験、職業人の話を聞く会、卒業生の話を聞く会、生徒会主催によるボランティア活動等を実施する。
- ⑥地域や行政と連携しながら実践的な防災教育を実施し、非常災害時に地域の中で貴重な活力となるべく能力を身につけさせ、社会貢献・地域貢献できる資質を育成するとともに、地域の一員であることを自覚させることで、将来を見据えた市民性の育成を図る。
- ⑦各教科との連携を図りながら学習指導補助員や地域の人材を活用し、平日の放課後や土曜日の学習支援教室及び、長期休業中等の補充教室を充実させる。
- ⑧学校2020レガシーとして、我が国の伝統・文化を身に付けさせ、日本人としての誇りを大切にする心を育てるための行事を積極的に推進する。そのために、百人一首大会、三味線教室、着付け教室、書道教室、保健体育科による相撲の授業等を実施する。

2. 学校教育指導

2 - 1 教育研究活動

① 指導課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和4年度)

名称	構成	内容
1 担当者会		
教務担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の教務担当者 校長会・副校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程や教務事務等に関する研修を深め、各校の実践に生かす。 各校の教務に関する情報交換を行うとともに市教委との連絡機関とする。
生活指導担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の生活指導担当者 校長会・副校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 各校の生活指導上の情報交換や協議を行い、具体的な課題や事例に基づき相互の研修を深める。 市教委や関係諸機関との連携を図り、児童・生徒の健全育成に資する。
進路指導担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校の進路指導担当者 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 成績一覧表調査に係る事務連絡等を中心に評価評定の研修を行う。 進路指導やキャリア教育について情報交換を行う。
道徳教育推進教師担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の道徳教育推進教師 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育に関する取組について情報交換を行い、各校での道徳教育推進を図る。 「特別の教科 道徳」における評価を踏まえた授業づくりの研究・研修を行う。
小学校外国語等担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校の外国語等担当者 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動、外国語に関する取組について情報交換を行い、充実を図る。 学級担任がT1となって展開する授業づくりの研究・研修を行う。
2 委員会		
人権教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の視点を踏まえた講演会やフィールドワーク等を行い、人権教育の理解を深める。 人権教育に係る施策の周知の場とする。
武蔵野市民科カリキュラム推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会・副校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校及び中学校において実施する武蔵野市民科のカリキュラムや実施方法等について検討する。
武蔵野市立学校部活動在り方検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の教員 校長会・副校長会の代表 文化生涯学習事業団 事務局長 体育協会 事務局長 生涯学習スポーツ課 スポーツ推進担当課長 指導課 指導課長他4名 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の意義等についての協議 児童・保護者・教員の部活動に係るアンケート調査の実施 地域移行・地域連携に係る武蔵野市の方向性についての協議

学習者用コンピュータ活用検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・校長会・副校長会の代表 ・小・中学校の教員 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用コンピュータを適切かつ効果的に活用するため、児童及び生徒の発達段階を踏まえた指導内容、児童及び生徒が適切かつ効果的に活用することで身に付く力等について検討する。 ・「武蔵野市学習者用コンピュータ活用方針」を定めるために検討する。
武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・関係地域団体選出者 ・校長・副校長会の代表 ・行政職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭（保護者）・地域が目標を共有し持続可能な仕組みを構築できるよう、「学校運営」に関する協働体制について検討する。
3 連絡会		
学校図書館担当者・サポーター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の学校図書館サポーター ・各小中学校の司書教諭等 ・校長会の代表 ・市立図書館の担当者 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学校図書館利用の支援や、学校図書館を利用した授業の補助等を行う各校の学校図書館サポーターと担当教員による協議や情報交換を行う。 ・市立図書館との連携を図る。
ICT活用推進リーダー連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の教員 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用コンピュータの活用方法や授業実践等について、情報交換を行う。
4 運営委員会・実行委員会		
移動教室運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の委員 ・校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・日光移動教室に関する協議、連絡調整を行う。
演劇鑑賞教室運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の委員 ・校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の児童にふさわしい優れた演劇を鑑賞させ、文化的体験を深めさせるための運営を行う。

② 指導課主催 教職員等研修一覧

(令和4年度)

回数：半日を1回

研修会名	概要	回数	備考
1 職層研修			
校長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が進める重点的な取組や教育課題への対応に関する研修を行う。 	1	
副校長研修会		1	
新補・転補校長・副校長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市に新しく着任した校長・副校長を対象に、本市が進める取組等に関する研修を行う。 	1	
主幹教諭・主任教諭任用時研修	<ul style="list-style-type: none"> ・国・都主催研究発表会等などに参加し、主幹教諭・主任教諭としての見識を高める。 	1	
2 年次研修			
若手教員育成研修（1年次） 〔初任者等研修〕	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 10回、課題別研修 3日 ・校内における研修（180時間以上） 		法定研修
若手教員育成研修（2年次）	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 3回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ③都研究員・教師道場発表等への参加 ・校内における研修（30時間以上） 		
若手教員育成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 2回 		

(3年次)	①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ・校内における研修 (30 時間以上)		
中堅教諭等資質向上 研修 I	・校外における研修 (14~22 単位) ・校内における研修 (教諭 30 単位、主任教諭 18 単位) ※研修の段階によって単位数が異なる。(半日 1 単位)		法定研修
中堅教諭等資質向上 研修 II	・教諭等としての在職期間が 20 年に達した教員に対して実施		法定研修
3 専門研修			
研究主任研修	①各小中学校の研究主任対象の市主催研修	1	
学校マネジメント講座	・学校運営の中核を担う教員、将来学校経営を担うことができる教員の学校マネジメント能力の向上を図る。	2	
食育リーダー研修	・食に関する指導の在り方や食育リーダーの役割についての研修し、校内体制づくりについて協議や情報交換等を行う。	1	
4 教育課題研修			
小学校 理科実技研修会	・武教研理科部と連携し、理科の実験に関わる実技研修を行い、指導力の向上を図る。	1	希望者研修
小学校 体育実技研修会	・武教研体育部と連携し、体育の実技研修を行い、指導力の向上を図る。	1	希望者研修
小学校 外国語等研修	・学級担任が展開する授業の基本とクラスルームイングリッシュ等の習得をする。	1	希望者研修
特別支援教育研修	・通常の学級における特別な支援が必要と思われる児童・生徒について、正しい理解に基づいた支援の在り方等を身に付ける。	1	希望者研修
通級指導学級・特別支援教室等専門性向上 研修	・学校における特別支援教育の推進について	1	希望者研修
学習者用コンピュータ 活用研修	・Classroom 等の活用法についての講義及び実習	1	希望者研修
5 五市合同夏季専門研修			
五市合同夏季専門研修	・ 5 講座 (夏季休業中) (コーチング、ユニバーサルデザイン、算数科の主体的・対話的で深い学び、不登校の自立支援、デジタル・シティズンシップ) 武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、狛江市の 合同開催		希望者研修
6 その他			
新補・外転入者対象 研修	・武蔵野市の学校教育の特徴や個人情報の管理について理解を深める。	1	辞令伝達日に実施 (外転入者は、別途オンラインにて実施)

③ 指導課主催 教育アドバイザー訪問研修一覧

(令和4年度)

研修名	人数	概要	訪問回数
1 若手教員育成研修の実施支援			
訪問研修Ⅰ (1年目)	12	新規採用者研修・期限付任用教員任用時研修(年間3回) ○教師として身につけるべき基礎的・基本的事項の育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導) ・生活指導(児童・生徒指導)力の育成	61回
訪問研修Ⅱ (2年目)	18	訪問研修Ⅰ修了者(年間3回) ○実践的な指導力の育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導)の育成 ・生活指導・進路指導力の育成	39回
訪問研修Ⅲ (3年目)	18	訪問研修Ⅱ修了者(年間3回) ○課題解決力の伸長 ・実践的な指導力(学習指導力、生活指導力)の伸長 ・外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力の育成	38回
2 教員の育成研修の実施			
特別研修等	11	学校長の要請に応じた訪問研修 ○教員の授業指導、生活指導支援 教育委員会主催のセンター研修等の講師 ○研修会講師 ・初任者研修の講師 ・東京都センター研修等の講師	20回
臨時的任用 教員(産休育 休代替)の研 修		授業観察を基に、訪問研修計画の作成・実施 (随時、要請・状況に応じて訪問研修の実施) ○基礎的・基本的事項の確認と育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導) ・生活指導(児童・生徒指導)力の育成	

④ 教育支援課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和4年度)

名称	構成	内容
1 委員会		
就学支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> 校長会、副校長会の代表 特別支援学級の代表 学識経験者 臨床心理士 都立特別支援学校の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒一人一人に最もふさわしい就学先を判断するために、必要な調査及び就学相談を実施する。
通級判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 校長会、副校長会の代表 特別支援学級の代表 学識経験者 臨床心理士 	<ul style="list-style-type: none"> 通常の学級に在籍し、かつ、聴覚障害、言語障害又は情緒障害等により特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を受ける機会を提供するため、通級指導の可否を判定する。
2 連絡会		
特別支援教育 コーディネーター 連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校のコーディネーター 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育に関わる研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の円滑な推進を図る。

3 協議会・運営委員会		
特別支援学級設置校連絡協議会	・各特別支援学級設置校校長	・特別支援学級の相互の連携を深め、指導内容の充実を図るため、その組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。
知的障害学級運営委員会	・知的障害学級設置校校長、副校長、学級担任	・知的障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
肢体不自由学級運営委員会	・肢体不自由学級設置校校長、副校長、学級担任	・肢体不自由学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
難聴・言語障害学級運営委員会	・難聴・言語障害学級設置校校長、副校長、学級担任	・難聴・言語障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
病弱学級運営委員会	・教育長 ・武蔵野赤十字病院長 ・病弱学級設置校校長、副校長、学級担任 ・医師、看護師、臨床心理士、保育士	・病弱学級と武蔵野赤十字病院との相互の連携を深め、学級運営に関して充実を図る。
情緒障害等学級運営委員会(休会)	・情緒障害等学級設置校校長、副校長、学級担任	・情緒障害等学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。

⑤ 教育支援課主催 教職員等研修一覧

(令和4年度)

回数：半日を1回

研修会名	概要	回数	備考
専門研修			
通級指導学級・特別支援教室等専門性向上研修	・特別支援教育コーディネーター、特別支援教育専門員、巡回指導教員(希望者)を対象に、市の現状や取組、教育支援センターの機能、発達障害の特性等について研修し、特別支援教育の充実を図る。	1	指導課と共催

2 - 2 校内研究活動

(令和4年度)

学校名	研究主題等	対象教科・領域等
第一小学校	自ら学び、解決しようとする児童の育成 ～ICTの利活用を通して～	各教科等
第二小学校	自分の考えをもち、協働して学ぶ児童の育成	算数科
第三小学校	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～	算数科・国語科
第四小学校	伝え合うことを楽しむ子の育成 ～コンピュータの効果的な活用を通して～	各教科等
第五小学校	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ～学習者用コンピュータの有効活用を通して～	算数科
大野田小学校	主体的に学びをつなげる児童の育成 ～学びの深まりを実感できる授業づくり～	各教科等
境南小学校	主体的に学び、くらしをよりよくする子の育成 ～育てたい力を明確にした「武蔵野市民科」の実践を通して～	生活科 総合的な学習の 時間
本宿小学校	一人一台タブレット端末を活用した学習者主体の授業づくり	各教科等
千川小学校	「考え 取り組み 振り返る 自ら学ぶ児童の育成」 ～ICT機器を活用した授業を通して～	各教科等
井之頭小学校	情報活用能力を身に付け、すすんで問題を解決する児童の育成 ～学習者用コンピュータの効果的な活用を通して～	各教科等
関前南小学校	物語を自ら読み深める児童の育成 ～「言葉による見方・考え方」を働かせた 深い学びの実現を図る授業づくり～	国語科
桜野小学校	深い学びの実現 ～『話すこと・聞くこと』の指導を通して～	国語科
第一中学校	学習者用コンピュータ等のICT有効活用の推進 ～それぞれができる実践をめざして～	特に設定なし
第二中学校	「武蔵野市民科の充実に向けて」 ～社会の一員としてよりよい地域・社会づくりに 参画していく3年間を見通した資質・能力の育成～	総合的な学習の 時間等
第三中学校	指導と評価の一体化の充実と学習者用コンピュータ等のICT有効活用の推進	各教科等
第四中学校	指導と評価の一体化の定着と学習者用コンピュータ等のICT有効活用の推進 ～「主体的に学習に取り組む態度」をどう見取るか～	各教科等
第五中学校	GIGAスクールに向けた、ICTを活用する授業の実践	各教科等
第六中学校	GIGAスクール実現のためのICT活用 ～Google Workspaceを校務・授業で有効活用するために～	各教科等

2 - 3 研究指定校等一覧

◇ 武蔵野市（令和4年度）

- ① 教育課題研究開発校（継続2校：境南小学校・第二中学校）
（新規2校：第三小学校・関前南小学校）

学校名	研究課題	研究主題	年次
第三小学校	見方・考え方	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～	2 - 1
関前南小学校	見方・考え方	物語を自ら読み深める児童の育成 ～「言葉による見方・考え方」を働かせた深い学びの実現を図る授業づくり～	2 - 1
境南小学校	武蔵野市民科	主体的に学び、くらしをよりよくする子の育成 ～「武蔵野市民科」の充実を通して～	3 - 3
第二中学校	武蔵野市民科	武蔵野市民科の充実に向けて	2 - 2

② 教育研究奨励校（継続1校）

学校名	教科等	研究主題	年次
井之頭小学校	情報教育	情報活用能力を身に付け、すすんで課題を解決する児童の育成 ～1人1台タブレット型パソコンの効果的な活用を通して～	2 - 2

③ 調査研究協力校

学校名	教科等	調査内容	年次
第二小学校 第五小学校 第一中学校	全教科	自信と意欲を高めるための教育	1 - 1

◇ 東京都・国等（令和4年度）

事業名	対象校
愛鳥モデル校（都）	井之頭小学校
教育課程実践検証協力校（国立教育政策研究所）	第三小学校

2 - 4 教育推進室

平成27年4月、下記の5つの機能を先行して行う教育推進室を開室しました。5つの機能の他に、「開かれた学校づくり協議会」の運営、ティーチングアシスタント事業、サポートスタッフ事業、「地域コーディネーター」の各小中学校への配置、教員の多忙化解消のための「副校長等事務補助（会計年度任用職員）」の配置など多くの取組を行っています。また、平成30年4月から教育アドバイザー事業を拡充し、学校経営に関する校長等への支援も行っています。

教育推進室の 5つの機能ほか	主 な 内 容
相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対する相談・支援 ・教職員に対する研究や研修等の協議をもつ場の提供 ・学級崩壊やいじめ等への緊急対応支援 ・通常の学級における特別な教育的支援の必要な児童等へのSS, TAの派遣事業等
研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修の実施支援 ・臨時的任用教員（産休育休代替）の指導・支援 ・職層研修の実施支援 ・重点事業や教育課題に関する委員会等の実施支援
教育情報 収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校情報システム等を活用した研究開発・奨励校等の研究情報発信 ・教科書展示・閲覧 ・最新の教育情報（文科省・審議会、各種教育課題等）の発信等
調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が抱える当面の教育課題に対する調査・研究 ・授業改善や児童・生徒理解に資する調査・研究
ネットワーク構築 コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援協力者リストの作成及び学校への紹介 ・地域コーディネーターの活躍促進、連絡会の開催（年3回） ・地域の教育力による学校教育への支援 ・家庭や地域等への支援 ・開かれた学校づくり協議会代表者会の開催（年2回）
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・指導書・DVD教材等の貸出 ・学校共有貸出備品の購入・貸出 ・教員の多忙化解消のための副校長等事務補助、学習指導補助員、学習支援教室指導員及び学校図書館サポーター（会計年度任用職員）の配置 ・「地域と学校の協働通信」の発行（年2回発行）

2 - 5 武蔵野市立小中学校教育研究会

令和3年度より中学校でも全面実施となった新学習指導要領には、人生を主体的に切り拓くための学びを通して、より自立的に生きる力を育もうとする姿勢が示されており、教職員の自己啓発がより一層求められています。

武蔵野市における未来の学校教育のあり方として、市立小中学校の教職員が共に学ぶ場である本教育研究会は、校種を超えて相互理解を深め、小中学校の連携を一層強化することができる貴重な場でもあります。

① 目標

「自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる子供を育てよう」

② 活動方針

- ◎生きる力を支え、あらゆる学びの基盤となり、これからの時代に求められる資質・能力を育てよう。
- ◎子どもたちが自分の良さや可能性を認識し、自信を高め、意欲を育む教育を実践しよう。
- ◎多様な他者と協働しながら、よりよい社会を創っていくための多様性を生かす教育を実践しよう。
- ◎豊かな教育資源を活用し、学校・家庭・地域と協働した教育実践を推進しよう。

③ 事業計画

(令和4年度)

研究活動	文化活動	広報活動
○専門部会 (7回) 小学校 (7回) 中学校 (4回) ○管外視察 (公募) ○研究実践奨励 (グループ及び個人) ○研究発表会 2/17 (金)	○講演会 (9月) ○関連事業 ・ 連合音楽会 (小中別) ・ 音楽鑑賞教室 (小中別) ・ 演劇鑑賞教室 (小中別) ・ 美術展 (小中合同) ・ 書写展 (小中合同) ・ ジョイントコンサート ○文集「けやき」発行	○武教研「広報」9月発行 ○研究紀要 「令和4年度 武蔵野教育」 3月発行

2 - 6 教科用図書及び副読本

① 小学校教科用図書 (令和2年度～令和5年度使用)

教科	教科書名	発行者	教科	教科書名	発行者
国語	国語	光村	生活	せいかつ	光村
書写	書写	光村	音楽	音楽のおくりもの	教出
社会	新しい社会	東書	図工	図画工作	開隆堂
地図	楽しく学ぶ小学生の 地図帳	帝国	家庭	わたしたちの家庭科	開隆堂
算数	新しい算数	東書	保健	みんなの保健	学研
理科	たのしい理科	大日本	英語	Here We Go!	光村
			道徳	新しい道徳	東書

② 中学校教科用図書 (令和3年度～令和6年度使用)

教科	教科書名	発行者	教科	教科書名	発行者
国語	国語	光村	音楽(一般)	中学生の音楽	教芸
書写	中学書写	教出	音楽(器楽)	中学生の器楽	教芸
社会(地理)	社会科 中学生の地理	帝国	美術	美術	日文
社会(歴史)	新しい社会 歴史	東書	保健体育	中学保健体育	学研
社会(公民)	新しい社会 公民	東書	技術・家庭(技)	新しい技術・家庭 技術分野	東書
地図	中学校社会科地図	帝国	技術・家庭(家)	技術・家庭 家庭分野	開隆堂
数学	新しい数学	東書	英語	NEW CROWN	三省堂
理科	自然の探究 中学理科	教出	道徳	新しい道徳	東書

③ 副読本 (令和4年度使用)

わたしたちの武蔵野市	小学校3・4年	社会科
武蔵野市の地図	小学校3・4年	社会科
わたしたちの東京都	小学校4年	社会科
東京都の地図	小学校4年	社会科
武蔵野市のいま・むかし	小学校1～6年	全教科
わたしたちの安全	小学校1～6年	保健等
みんなの体育	小学校1～6年	体育
私たちの安全	中学校1年	保健体育等
新しい体育実技	中学校1～3年	保健体育

2 - 7 特別支援教育

① 特別支援学級・特別支援教室

令和5年5月1日現在

	設置校	学級数	児童・生徒数	連絡先
1. 知的障害	第三小学校 ひまわり学級	3学級	18人	43-0571
	大野田小学校 むらさき学級	3学級	18人	51-0513
	境南小学校 けやき学級	4学級	27人	34-8371
	第四中学校 群咲学級	4学級	29人	51-7677
2. 難聴	桜野小学校 こだま学級（通級）	1学級	8人	54-8655
	第一中学校 エコールーム（通級）	1学級	11人	51-1136
3. 言語障害	桜野小学校 こだま学級（通級）	3学級	53人	54-8655
4. 肢体不自由	大野田小学校 いぶき学級	1学級	2人	51-0513
	第四中学校 いぶき学級	1学級	1人	51-7675
5. 病弱（院内）	境南小学校 いとすぎ学級	1学級	0人	32-6140
	第六中学校 いとすぎ学級	1学級	0人	32-6140
6. 情緒障害等	第四小学校 はなみずき教室	特別支援 教室	67人	22-1443
	千川小学校 あさがお教室		77人	51-3695
	井之頭小学校 かわせみ教室		73人	51-7188
	桜野小学校 こぶし教室		78人	53-5651
	第二中学校 こぶし教室		56人	54-9103

※特別支援教室は学級編成をしない。

② 特別支援教育の推進

通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童・生徒及び、特別支援学級児童・生徒の指導の充実、学習環境の整備などを進めるとともに理解啓発を行います。

武蔵野市における特別支援教育の推進イメージ

小・中学校の取組

特別支援教育推進体制の構築

○特別支援教育コーディネーター連絡会

各学校で特別支援教育推進の中心となっている教員(特別支援教育コーディネーター)を対象として、研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の充実につなげます。

○特別支援学級設置校連絡協議会・運営委員会

特別支援各学級の指導内容・方法について情報交換をするとともに、課題や改善について協議します。

専門性の確保

○専門家スタッフ

発達障害を専門とする大学教授等が小・中学校を年間6回訪問。授業観察を行い、対象の子どもの行動の意味や指導上の工夫などを学校に助言します。

○巡回相談心理士(特別支援教室)

都が配置した資格取得者(臨床発達心理士、特別支援教育士、学校心理士、公認心理師)が年間40時間、専門的な指導・支援を学校が実施するための助言を行います。

○派遣相談員

教育支援センターの臨床心理士を全小・中学校に週1回派遣。学級担任やコーディネーターに助言を行うとともに、子どもたちや保護者からの相談に応じます。

○都スクールカウンセラー

不登校・いじめ問題の解消や防止のため、全小・中学校に週1回配置されています。

○スクールソーシャルワーカー

6名配置。子どもたちの抱える問題の解決を図るため、学校、家庭、地域、関係機関の連携・調整を行います。

○校内委員会の運営

特別支援教育コーディネーターを中心に、専門家スタッフの助言や保護者の意見を取り入れながら、具体的な支援策を協議し、学校全体の協力体制を組みます。

○特別支援教育コーディネーター

各学校で2名以上の教員を指名。関係機関との連絡調整、保護者の相談窓口、担任の先生への支援など特別支援教育の中心となって活動しています。

○教員の専門性の向上

発達障害のある子どもの特性の理解や指導・支援の方法などを研修し、理解を深めています。

○個別指導計画・学校生活支援シート(個別の教育支援計画)

対象となる子どもの教育的ニーズに応じた指導を行うため、学校と保護者が協力して計画・シートを作成します。

特別支援学級(固定)の運営

学習面や対人関係など個に応じた指導を毎日行います。知的障害(小3・中1校)、肢体不自由(小・中各1校)、病弱(小・中各1校)の各学級を運営。個別指導や小集団指導に加えて通常学級との交流を進めています。

子ども・保護者のニーズ

一人一人の教育的ニーズに応じた支援

○サポートスタッフ(指導課教育推進室)

臨床心理士等を目指す大学生・大学院生が人との関わり方に困難を抱える子どもに対して、授業中の個別支援や、休み時間、給食、清掃の時間の支援を行い、学校生活への適応を図ります。

○ティーチングアシスタント(教育推進室)

教職志望の大学生が子どもたちの学習支援や教員の指導補助を行います。

○通級指導学級・特別支援教室

通常は学籍のある学校(学級)で学習している子どもが、週1回程度、決められた日時に通い、個別指導や小集団指導を受ける学級です。難聴(小・中各1校)、言語障害(小1校)、情緒障害等(小4拠点校、中1校)を設置。

○個別支援教室

在籍学級で一斉指示による学習に困難さを示す子どもを対象に、別室で指導員が個に応じた指導をします。(全小学校設置)

連携体制の構築

○都立特別支援学校との連携

センター的機能による巡回相談、助言、講師派遣を受けています。

○交流及び共同学習

特別支援学級と通常の学級との交流促進や副籍制度の充実に取り組んでいます。交流共同学習支援員を令和2年度より小学校、令和3年度より中学校の特別支援学級(知的障害)設置校に配置。

○幼・保・小の連携

入学前の子どもの情報を学校へ引き継ぐ就学支援シートを活用するとともに、就学前後の相談体制の充実を図ります。

2 - 8 教育相談機関（教育支援センター）

教育支援センターでは、教育相談員及びスクールソーシャルワーカーによる相談支援、チャレンジルーム及びむさしのクレスコーレでの不登校児童・生徒への支援、帰国・外国人教育相談室での帰国・外国籍・国際結婚家庭への支援を行っています。

① 教育相談員

- ア 支援対象 武蔵野市在住の幼児・児童・生徒および保護者
- イ 活動内容 来所相談、電話相談、必要に応じて医療相談、発達検査等の実施
- ウ 学校派遣相談 週1回派遣相談員として市立小・中学校で相談支援

② スクールソーシャルワーカー

- ア 支援対象 武蔵野市在住の児童・生徒および保護者
- イ 活動内容 相談支援、学校訪問、家庭訪問、同行支援、関係機関とのネットワーク構築

③ チャレンジルーム

- ア 支援対象 武蔵野市在住の不登校児童・生徒
- イ 活動内容 居場所の提供、相談支援、学習支援、集団活動、進路相談

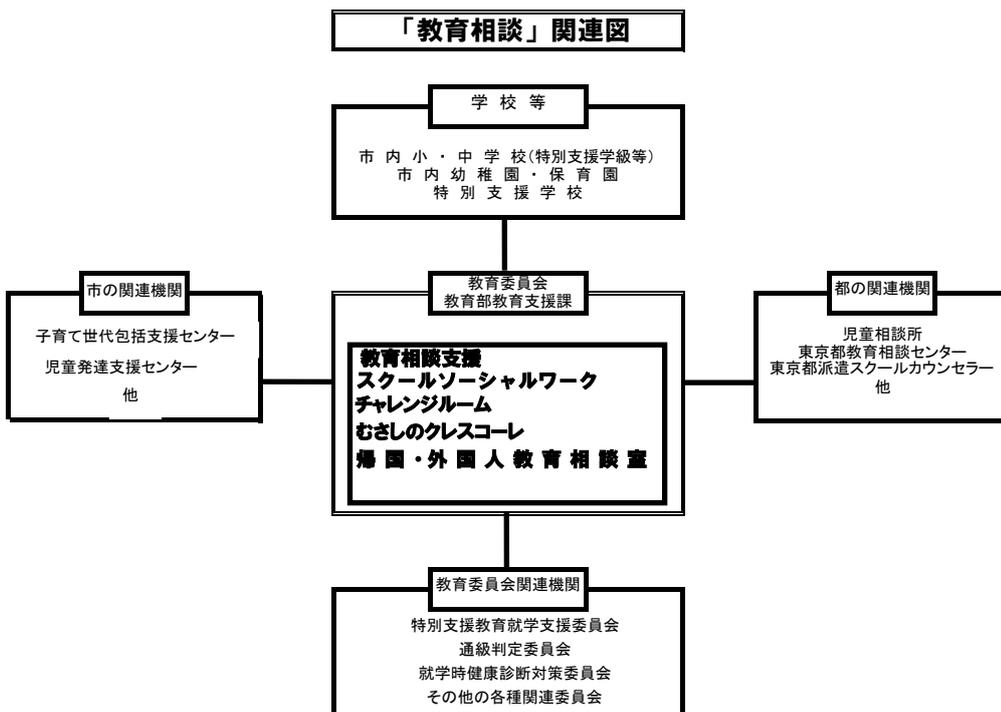
④ むさしのクレスコーレ（NPO 法人文化学習協同ネットワークに事業運営委託）

- ア 支援対象 武蔵野市在住の不登校生徒
- イ 活動内容 居場所の提供、相談支援、体験学習支援、訪問支援、同行支援、進路相談

⑤ 帰国・外国人教育相談室

- ア 支援対象 武蔵野市在住の帰国、外国籍及び国際結婚家庭の児童・生徒および保護者（日本語指導及び言語支援は、武蔵野市立小中学校在籍の児童・生徒が対象）
- イ 活動内容 相談支援、日本語指導、言語支援、学習支援（すてっぷルーム）

⑥ 教育相談関係機関



3. 教育活動

3-1 令和4年度 行事日程一覧

	小学校 移動教室	中学校 修学旅行	運動会・体育大会	学芸会・文化祭等	合唱祭 (合唱コンクール等)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・日光の歴史、地形、交通、名所、植物などについて知る。 ・集団生活を通して、友情を深める。 ・自然に親しみ、心身を鍛え、生活を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の古都、京都、奈良を見学することにより、日本の歴史や文化について理解を深める。 ・集団生活を通じて、自主性・協調性をはぐくむとともに集団行動のきまりや公衆道徳を身に付ける。 	各学校による	各学校による	各学校による
第一小学校	6/15～6/17		5/21	学芸会 11/11～11/12	
第二小学校	6/22～6/24		10/29	展覧会 2/10～2/11	
第三小学校	6/13～6/15		5/21	学芸会 11/11～11/12	
第四小学校	6/8～6/10		10/1	学芸会 11/11～11/12	
第五小学校	6/13～6/15		5/28	学芸会 11/11～11/12	
大野田小学校	6/6～6/8		10/29	アートフェスタ 12/1～12/3	
境南小学校	6/6～6/8		11/12	学習発表会 2/24～2/25	
本宿小学校	6/22～6/24		5/21	はとの子作品展 1/20～1/21	
千川小学校	6/20～6/22		5/21	SENKA輪発表会 11/11～11/12	
井之頭小学校	6/22～6/24		10/29	音楽会 11/22～11/23	
関前南小学校	6/6～6/8		5/28	展覧会 11/17～11/19	
桜野小学校	6/14～6/16		10/28 表現種目発表会10/29	音楽会 11/22～11/23	
第一中学校			6/7～6/9	5/28	
第二中学校		6/2～6/4	10/1	教科作品展 1/14～1/20	10/28
第三中学校		5/19～5/21	6/4	文化祭 10/21～10/22	3/7
第四中学校		6/4～6/6	5/28	四中祭 10/22	3/9
第五中学校		6/2～6/4	6/11	文化発表会 10/18	10/18
第六中学校		5/19～5/21	6/4	学習発表会 3/4	10/15

道徳授業 地区公開講座	オーケストラ 鑑賞教室	演劇鑑賞教室	連合音楽会	書初展	美術展	南砺市 利賀村訪問	その他	
学校、家庭及び地域社会が一体となって子どもたちの豊かな心を育むとともに、道徳教育の充実を図る。	オーケストラの演奏を聴き、それぞれの楽器の演奏の法や指揮者の役割などを学習するとともに、曲の美しさを味わう。	実際の演劇を鑑賞することにより、人物の動作やセリフを学習するとともに、演劇の楽しさを味わう。	・日常の学習の成果を発表し、互いの演奏を聞きあう。 ・音楽の楽しさを味わい、音楽を愛好する心情を育てる。	互いの作品の成果を発表し合うことで、作品を正しく鑑賞する能力や態度を養い、子どもたちの意欲を高める。		利賀村の児童や人々との交流を深めるとともに自然のすばらしさを知る。		目的
10/14	5/2	10/25	11/25	1/28 ～ 1/30	2/3 ～ 2/7	7/21 ～ 7/24		第一小学校
9/10							第二小学校	
1/21							第三小学校	
1/21							第四小学校	
10/15							第五小学校	
1/21							大野田小学校	
5/28							70周年記念式典 6/25	境南小学校
11/12							70周年記念式典 10/22	本宿小学校
9/10								千川小学校
9/10							研究発表会 2/24	井之頭小学校
1/21								関前南小学校
2/25								桜野小学校
9/10	5/9	7/1	中止					第一中学校
11/5							研究発表会 1/17	第二中学校
9/3								第三中学校
1/14								第四中学校
9/3								第五中学校
5/7								第六中学校

3 - 2 セカンドスクール

市立小学校5年生、市立中学校1年生全員を対象に、セカンドスクールを実施しています。セカンドスクールとは、普段の学校生活（ファーストスクール）ではできないような体験学習を、授業の一部として自然豊かな農山漁村に長期滞在して行うものです。平成4年度からの試行を経て、平成7年度から全小学校が、平成8年度からは全中学校が実施しています。また、小学校4年生を対象にした「プレセカンドスクール」も平成17年度から本格実施となり、セカンドスクールにつながる体験活動に大きな成果をあげています。市内小中学校全校による本格実施20周年を迎えた平成27年度には、これまでの取組が評価され「2015年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）」を受賞しました。しかし、急激に変化する社会環境や新学習指導要領への対応等から、「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会」にて全7回の協議を重ね、令和3年3月に報告書としてまとめました。

実施期間は、小学校で5泊6日（プレセカンドスクールは2泊3日）、中学校で4泊5日です。各学校とも特色ある教育活動として、実施場所や活動内容など、創意工夫を図り、毎年充実させています。

①目的

- ・自然との触れ合いを通して、子どもたちの豊かな情操や感性をはぐくむとともに、子どもたちの知的好奇心や探究心を喚起し、課題解決への意欲や態度を培う。
- ・長期にわたる宿泊体験を通し、生活自立に必要な知識や技能を身に付けるとともに、子どもたちの豊かな人間関係を育てる。
- ・子ども同士の協働により、自主性や協調性を育てるとともに、実施地の方々との交流を通じて、進んで他者と関わる力を培う。

②これまでの経緯

平成 4年度	長野県八坂村で、夏季山村生活体験学習（6泊7日）を小学校6年生、中学校1年生の30名で実施
平成 5年度	岩手県遠野市で、夏休みに山村生活体験教室（12泊13日）を小学校4年生から中学校2年生100名で実施
平成 6年度	岩手県遠野市において、小学校5年生、中学校1年生が12泊13日で実施
平成 7年度	小学校全13校が学期中に実施（岩手県遠野市、長野県高遠町、富山県利賀村、新潟県小国町、山梨県中富町、山梨県高根町）。長野県豊科町において、中学校1年生70名（中学校6校の代表）が夏季休業中に6泊7日で実施
平成 8年度	全小・中学校が学期期間中に実施
平成15年度	「プレセカンドスクール」を小学校4校にて試行実施（翌年度10校試行実施）
平成17年度	全小学校が「プレセカンドスクール」を実施
平成27年度	本格実施20周年を迎える。「2015年度グッドデザイン賞」を受賞
令和 2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全校中止 「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会報告書」作成

③ 主な体験活動

- ・自然体験（周辺自然観察、登山等）
- ・社会体験（田植え、稲刈りなどの農業体験や林業体験等）
- ・生活・文化体験（笹団子、ちまき等の郷土食作り、民宿・農家生活、紙すき等の伝統工芸体験等）
- ・その他（学校交流、ボランティア活動）

令和4年度セカンドスクール・プレセカンドスクール日程表

種別	学校名	実施日		実施場所	現地宿舎
小学校セカンドスクール	第一小学校	9月22日(木) ～ 9月27日(火)	5泊6日	新潟県魚沼市	民宿
	第二小学校	9月18日(日) ～ 9月24日(土)	6泊7日	富山県南砺市利賀村	民宿
	第三小学校	9月21日(水) ～ 9月26日(月)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	第四小学校	5月26日(木) ～ 5月31日(火)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	第五小学校	9月9日(金) ～ 9月14日(水)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	大野田小学校	9月14日(水) ～ 9月19日(月)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	境南小学校	9月15日(木) ～ 9月20日(火)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	本宿小学校	9月22日(木) ～ 9月27日(火)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	千川小学校	9月16日(金) ～ 9月21日(水)	5泊6日	新潟県南魚沼市	民宿
	井之頭小学校	9月22日(木) ～ 9月27日(火)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	関前南小学校	9月28日(水) ～ 10月3日(月)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
	桜野小学校	9月17日(土) ～ 9月22日(木)	5泊6日	長野県飯山市	民宿
中学校セカンドスクール	第一中学校	9月20日(火) ～ 9月24日(土)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル1泊
	第二中学校	5月24日(火) ～ 5月28日(土)	4泊5日	新潟県十日町市松之山	ホテル
	第三中学校	9月26日(月) ～ 9月30日(金)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿2泊、ホテル2泊
	第四中学校	9月27日(火) ～ 10月1日(土)	4泊5日	群馬県みなかみ町	キャンプ1泊、 民宿2泊、ホテル1泊
	第五中学校	9月12日(月) ～ 9月16日(金)	4泊5日	長野県北安曇郡白馬村	民宿3泊、ホテル1泊
	第六中学校	9月9日(金) ～ 9月13日(火)	4泊5日	長野県安曇野市	ホテル2泊 公営宿泊施設2泊
小学校プレセカンドスクール	第一小学校	9月14日(水) ～ 9月16日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	第二小学校	10月4日(火) ～ 10月6日(木)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	第三小学校	6月1日(水) ～ 6月3日(金)	2泊3日	新潟県南魚沼市	民宿
	第四小学校	9月7日(水) ～ 9月9日(金)	2泊3日	群馬県利根郡片品村	民宿
	第五小学校	9月21日(水) ～ 9月23日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	大野田小学校	6月15日(水) ～ 6月17日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	境南小学校	9月28日(水) ～ 9月30日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル
	本宿小学校	10月5日(水) ～ 10月7日(金)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	千川小学校	10月3日(月) ～ 10月5日(水)	2泊3日	山梨県南都留郡富士河口湖町	ホテル
	井之頭小学校	10月5日(水) ～ 10月7日(金)	2泊3日	東京都西多摩郡奥多摩町	民宿
	関前南小学校	9月14日(水) ～ 9月16日(金)	2泊3日	静岡県島田市	公営宿泊施設
	桜野小学校	9月8日(木) ～ 9月10日(土)	2泊3日	山梨県南都留郡山中湖村	ホテル

4. 高等学校等修学支援事業

4 - 1 高等学校等入学準備金

教育を受ける機会の充実を図ることを目的とし、高等学校等の入学準備に必要な費用（学用品の購入など）について経済的援助を入学前に行う制度です。就学援助の認定要件を満たしている方が対象です（平成 28 年度より）。

令和 4 年度 高等学校等入学準備金支給状況

支給人数：104 人 支給額：60,000 円／1 人 支給総額：6,240,000 円

4 - 2 高等学校等修学給付金

高校生のいる世帯に対する教育費（授業料以外）の負担軽減を目的とした給付金制度です。東京都奨学給付金制度の対象である生活保護受給世帯・市民税都民税所得割額非課税世帯を除いた一定所得以下の世帯が対象です（平成 29 年度より）。

令和 4 年度 高等学校等修学給付金支給状況

支給人数：243 人 支給額：50,000 円／1 人 支給総額：12,150,000 円

5. 就学援助費・特別支援教育就学奨励費

5 - 1 就学援助費

教育基本法、学校教育法等に基づき、要保護児童・生徒並びに、経済的な理由により就学することが困難と市教育委員会で認定した準要保護児童・生徒の保護者に対し、学校教育活動に必要な費用（学用品費、校外活動費、給食費等）の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るものです。

令和 4 年度 就学援助費支給状況（給食費合算）

<小学校> 認定者数：563人 支給総額：42,351,075円

<中学校> 認定者数：368人 支給総額：38,883,002円

※認定者数には、次年度入学児童生徒への新入学学用品費の入学前支給を実施した人数を含む。

5 - 2 特別支援教育就学奨励費

教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律等に基づき、特別支援学級に通う児童・生徒の保護者に対し、教育費の一部（通学費、学用品費等）を補助することにより保護者の経済的負担を軽減するものです。

令和 4 年度 特別支援教育就学奨励費支給状況（給食費合算）

<小学校> 支給人数：36 人 支給総額：828,129 円

<中学校> 支給人数：5 人 支給総額：557,674 円

6. 学校保健・体育

6 - 1 学校保健

① 定期健康診断

児童・生徒及び教職員の健康の増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として、毎年定期的に行っています。

② 就学時健康診断

就学予定者の心身の状況を的確に把握し、就学に当たって、保健上必要な勧告、助言を行うとともに、適正な就学を図ることを目的に、毎年10月から11月の間に行っています。

③ 委員会等一覧

名 称	構 成	内 容
就学時健康診断 対策委員会	・市立学校長、養護教諭 ・教育支援課職員	就学時健康診断を円滑に実施するため、 実施内容・方法等について検討を行う。
武蔵野市学校 保健委員会	<各小中学校保健委員会> ・各小中学校の校長、副校長、 保健主任、養護教諭 ・各小中学校の学校医、学校歯科 医、学校薬剤師 ・各小中学校の児童生徒の保護者 の代表者 <幹事会> ・校長会・副校長会の各代表者 ・東京都多摩府中保健所の代表者 ・健康福祉部健康課長 ・教育部統括指導主事 ・教育部教育支援課長 ・教育部教育支援課学務係学校 保健給食担当係長	・各学校の学校保健員会及び委員を 代表する幹事会で組織する。 ・各学校保健委員会は、市教育委員 会の基本方針に基づき、各学校の実 情に応じた活動方針を定め、その方 針に沿って学校保健に関する活動を 行う。 ・幹事会は、各学校の児童及び生徒 の健康づくりの推進並びに学校保健 活動の充実及び発展を図るために検 討をする。

6 - 2 学校体育

① 市内中学校総合体育大会

市内公私立中学校の生徒が、各種競技の正しい知識と技術を修得し、体育に対する興味と関心を深め健全な心身を鍛えるとともに、望ましい社会性を身に付けるために開催しています。この体育大会を円滑に実施するため、校長、副校長、教員、市教委の委員によって、市内中学校総合体育大会運営委員会を設置し、競技種目、実施日程、大会運営等について協議を行っています。競技種目は、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、剣道、サッカー、野球、ソフトテニス、硬式テニス、陸上競技です。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止